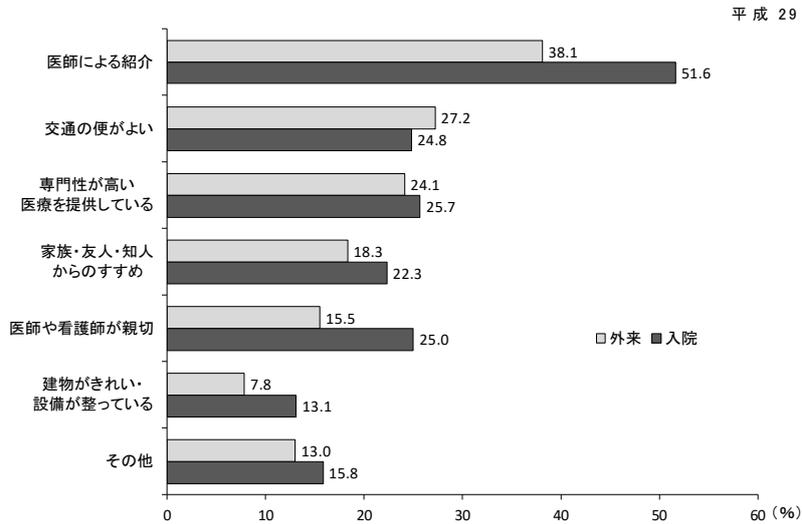


結果の概要

1 病院を選んだ理由

この病院を選んだ理由があると回答した者について、選んだ理由をみると、外来、入院ともに「医師による紹介」が最も高く、外来で 38.1%、入院で 51.6%、次いで、外来では「交通の便がよい」が 27.2%、入院では「専門性が高い医療を提供している」が 25.7%となっている(図1、統計表1、2)。

図1 外来-入院別にみた病院を選んだ理由(複数回答)(基本集計)



注:「病院を選んだ理由がある」者の数値である。

2 ふだん医療機関にかかる時の情報の入手先

ふだん医療機関にかかる時に「情報を入手している」者は、外来が 77.7%、入院が 82.6%、「特に情報は入手していない」者は、外来が 17.2%、入院が 13.9%となっている。

「情報を入手している」者について、年齢階級別に情報の入手先をみると、外来、入院ともに全ての年齢階級で「家族・知人・友人の口コミ」が最も高く、次いで、65歳未満の各年齢階級では「医療機関が発信するインターネットの情報」が、65歳以上の各年齢階級では「医療機関の相談窓口」が高くなっている。(表1)

表1 外来-入院、年齢階級別にみたふだん医療機関にかかる時の情報の入手先(複数回答)(基本集計)

	総数	情報を入手している	情報の入手先(複数回答)										特に情報はない	無回答		
			医療機関の相談窓口	インターネットの医療機関が発信する情報	パンフレットなどの医療機関の看板や広告	行政機関の相談窓口	情報(医療機能情報提供制度など)	行政機関が発信するインターネットの情報	行政機関が発信するパンフレット	行政機関が発信するパンフレット	医療機関・行政機関以外が発信するインターネットの情報(SNS、電子掲示板、ブログの情報を含む)	新聞・雑誌・本の記事やテレビ・ラジオの番組			家族・知人・友人の口コミ	その他
			(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)			(%)	(%)
外来	100.0	77.7 (100.0)	(16.4)	(21.2)	(5.0)	(2.3)	(3.4)	(3.3)	(12.1)	(5.3)	(70.5)	(10.4)	17.2	5.1		
0～14歳	100.0	86.0 (100.0)	(8.8)	(35.9)	(4.5)	(3.0)	(5.5)	(3.8)	(24.5)	(2.9)	(78.6)	(5.6)	11.7	2.4		
15～39	100.0	83.0 (100.0)	(6.7)	(37.4)	(3.9)	(1.4)	(6.0)	(1.7)	(28.2)	(3.3)	(69.1)	(5.6)	14.3	2.7		
40～64	100.0	81.5 (100.0)	(11.3)	(32.2)	(5.1)	(1.7)	(4.9)	(2.5)	(17.8)	(5.8)	(72.5)	(9.3)	16.5	2.0		
65～74	100.0	76.0 (100.0)	(18.6)	(14.0)	(5.2)	(2.4)	(2.3)	(4.0)	(5.6)	(5.7)	(70.7)	(12.2)	19.5	4.5		
75歳以上	100.0	74.0 (100.0)	(23.8)	(8.3)	(5.2)	(3.0)	(1.5)	(3.9)	(4.2)	(5.5)	(67.9)	(12.5)	18.0	8.0		
入院	100.0	82.6 (100.0)	(25.1)	(14.5)	(6.5)	(5.7)	(2.9)	(3.8)	(8.7)	(6.0)	(72.2)	(12.1)	13.9	3.5		
0～14歳	100.0	91.6 (100.0)	(8.1)	(39.2)	(5.3)	(2.3)	(6.1)	(3.8)	(30.7)	(3.2)	(84.8)	(3.9)	7.9	0.5		
15～39	100.0	86.5 (100.0)	(7.7)	(38.8)	(4.6)	(2.0)	(4.9)	(2.0)	(30.2)	(4.0)	(75.5)	(6.7)	12.5	1.0		
40～64	100.0	83.6 (100.0)	(16.4)	(26.4)	(6.4)	(4.0)	(4.7)	(2.9)	(16.5)	(7.2)	(72.7)	(11.5)	14.9	1.5		
65～74	100.0	82.6 (100.0)	(24.0)	(12.2)	(7.0)	(5.6)	(2.6)	(4.4)	(6.5)	(6.3)	(71.4)	(12.3)	14.8	2.5		
75歳以上	100.0	82.3 (100.0)	(29.5)	(9.5)	(6.6)	(6.5)	(2.3)	(4.1)	(5.0)	(5.8)	(72.0)	(12.9)	13.7	4.1		

注:年齢の総数には年齢不詳を含む。

3 予約の状況、診察等までの待ち時間、診察時間（外来患者のみ）

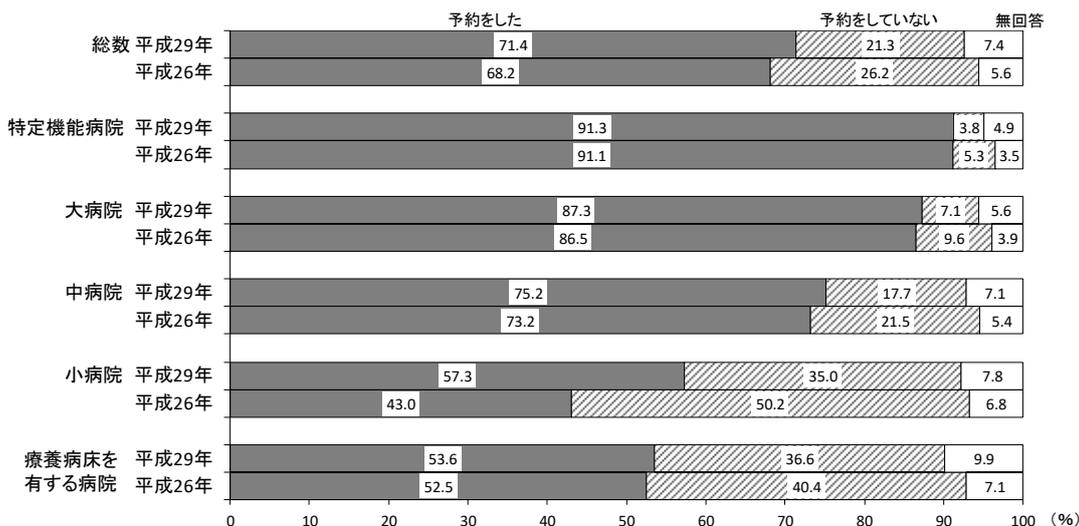
(1) 予約の状況

外来患者の予約の状況を見ると、「予約をした」は 71.4%、「予約をしていない」は 21.3%となっている。

病院の種類別にみると、特定機能病院で「予約をした」が 91.3%と最も高く、次いで大病院 87.3%、中病院 75.2%となっている。

また、前回と比べると、小病院において「予約をした」が 14.3 ポイント上昇し、57.3%となっている。（図 2）

図 2 病院の種類別にみた外来患者の予約の状況（基本集計）



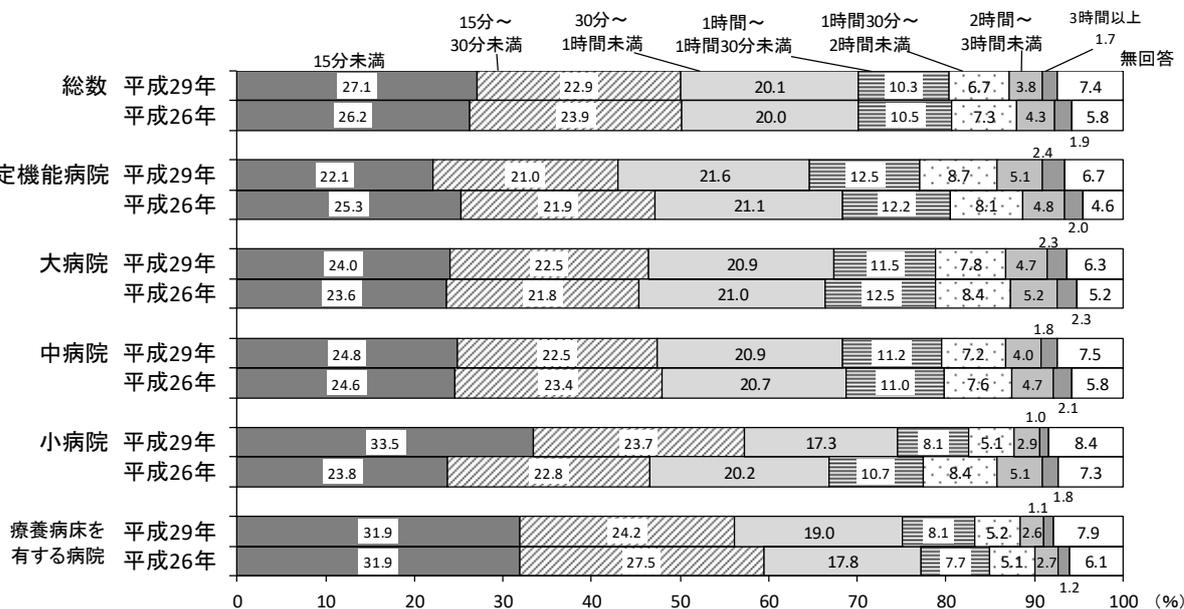
(2) 病院の種類別にみた診察等までの待ち時間

外来患者の診察等までの待ち時間を見ると、「15分未満」が 27.1%と最も多く、次いで、「15分～30分未満」が 22.9%、「30分～1時間未満」が 20.1%となっており、1時間未満の待ち時間の割合が約7割となっている。

病院の種類別にみると、全ての病院において「15分未満」が最も多くなっている。

また、前回と比べると、小病院において「15分未満」が 9.7 ポイント上昇し 33.5%となっている。（図 3、統計表 3）

図 3 病院の種類別にみた外来患者の診察等までの待ち時間（基本集計）



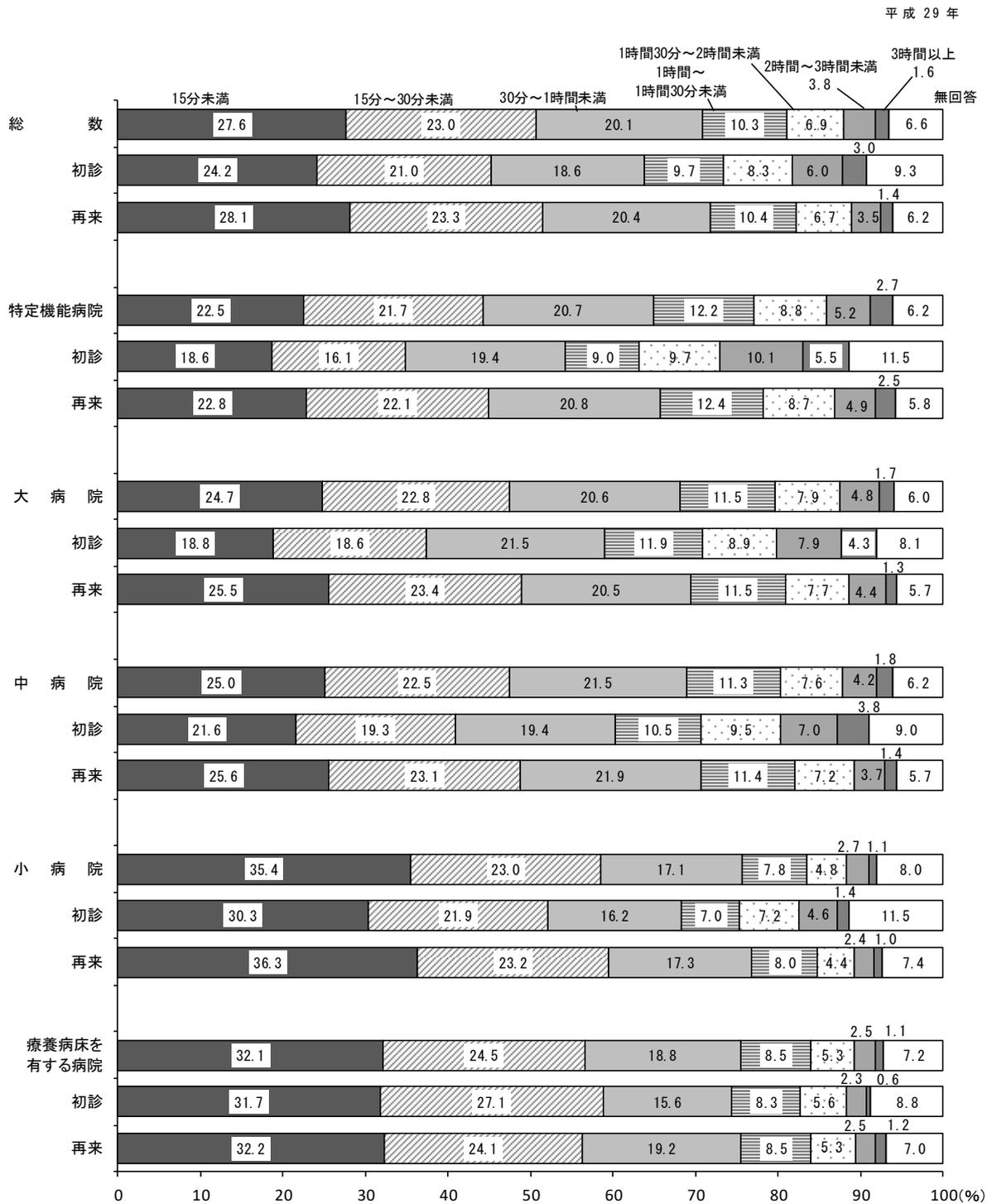
(3) 初診－再来別にみた診察等までの待ち時間【関連集計】

外来患者の診察等までの待ち時間を初診・再来別にみると、初診、再来ともに「15分未満」が初診24.2%、再来28.1%で最も多く、次いで「15分～30分未満」、「30分～1時間未満」となっており、1時間未満の待ち時間は、初診で約6割、再来で約7割となっている。

病院の種類別にみると、療養病床を有する病院を除く全ての病院において、「15分未満」「15分～30分未満」の割合が、初診より再来で高くなっている。(図4)

追加

図4 病院の種類、初診－再来別にみた外来患者の診察等までの待ち時間(関連集計)

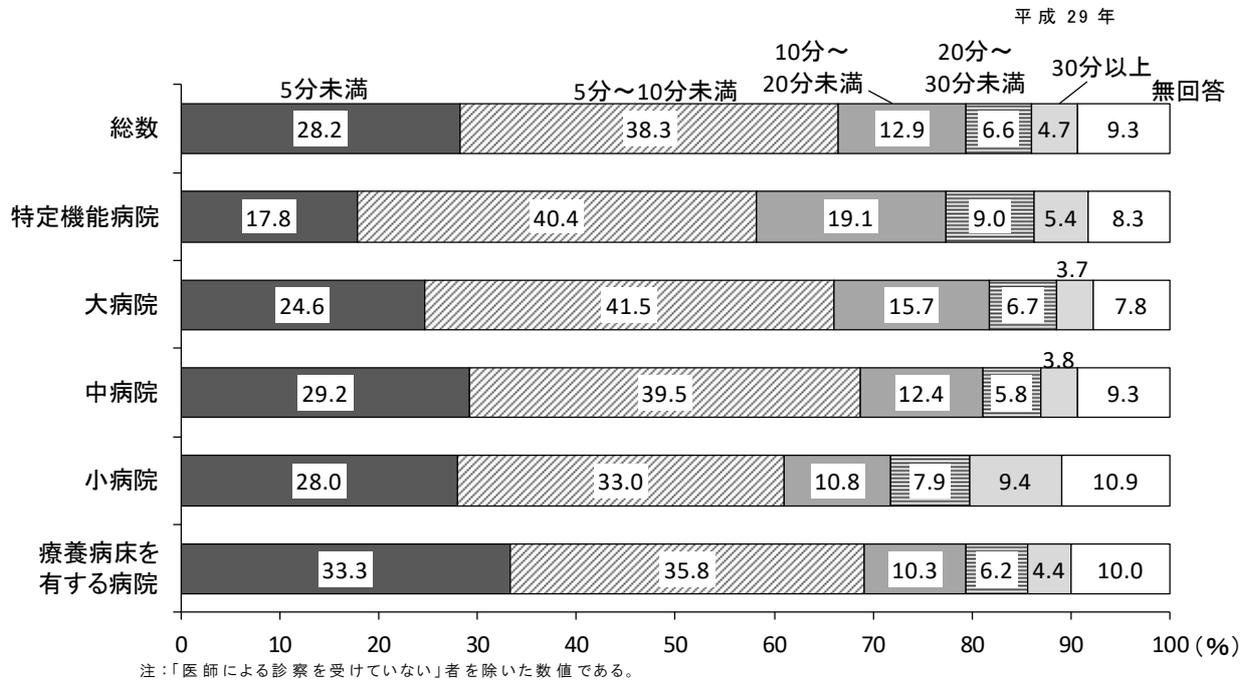


(4) 病院の種類別にみた診察時間

外来患者の診察時間をみると、「5分～10分未満」が38.3%と最も多く、次いで「5分未満」が28.2%、「10分～20分未満」が12.9%となっている。

病院の種類別にみると、「5分未満」は療養病床を有する病院で33.3%と最も高く、特定機能病院で17.8%と最も低くなっている。(図5、統計表4)

図5 病院の種類別にみた外来患者の診察時間(基本集計)



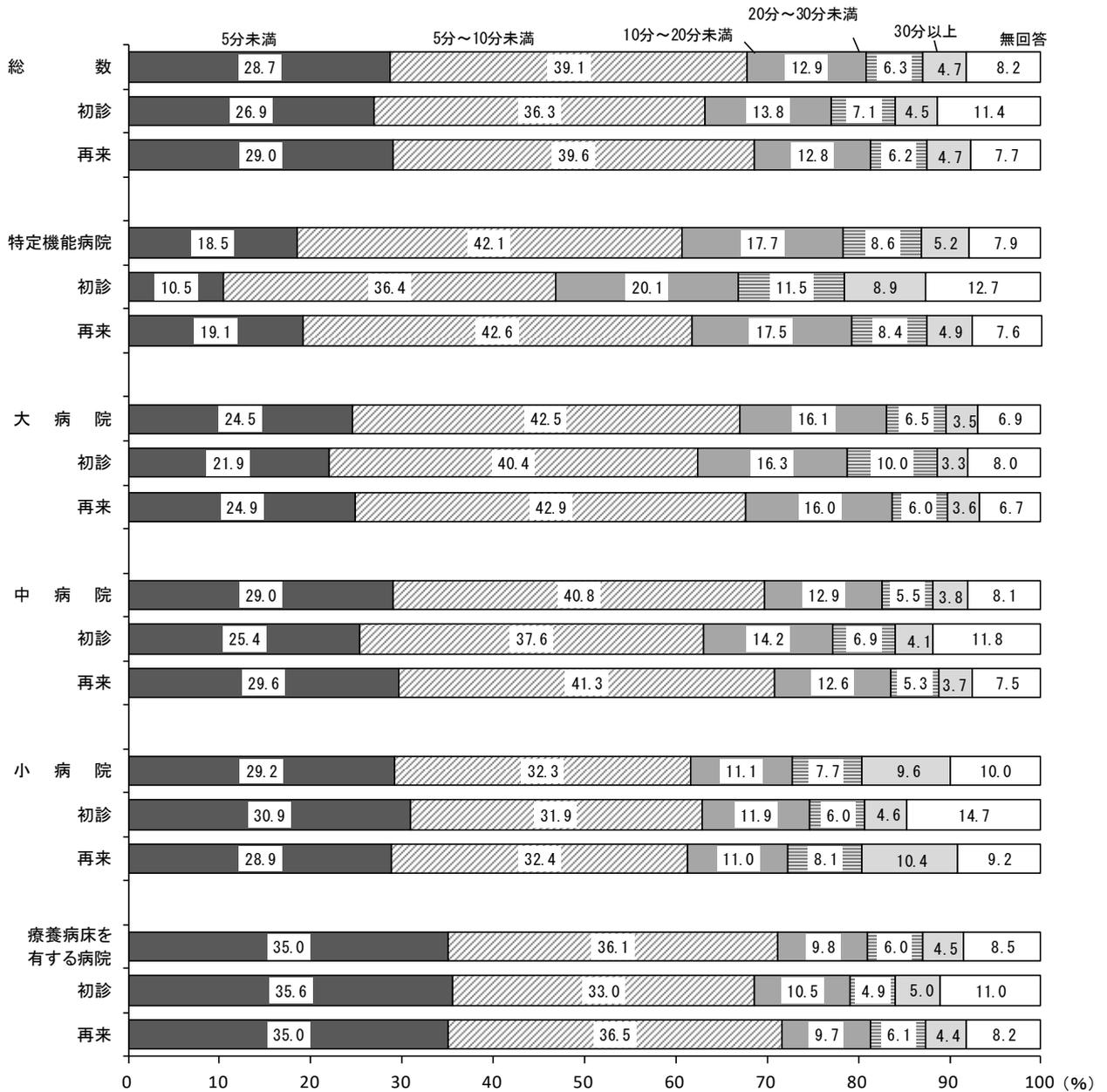
(5) 初診－再来別にみた診察時間 【関連集計】

外来患者の診察時間を初診・再来別にみると、初診・再来ともに「5分～10分未満」が初診36.3%、再来39.6%と最も多く、次いで「5分未満」が初診26.9%、再来29.0%となっている。

病院の種類別にみると、特定機能病院、大病院、中病院では、「5分未満」で初診より再来が高く、中でも特定機能病院で初診と再来の差が大きく8.6ポイントとなっている。(図6)

追加 図6 病院の種類、初診－再来別にみた外来患者の診察時間(関連集計)

平成29年



注：「医師による診察を受けていない」者を除いた数値である。

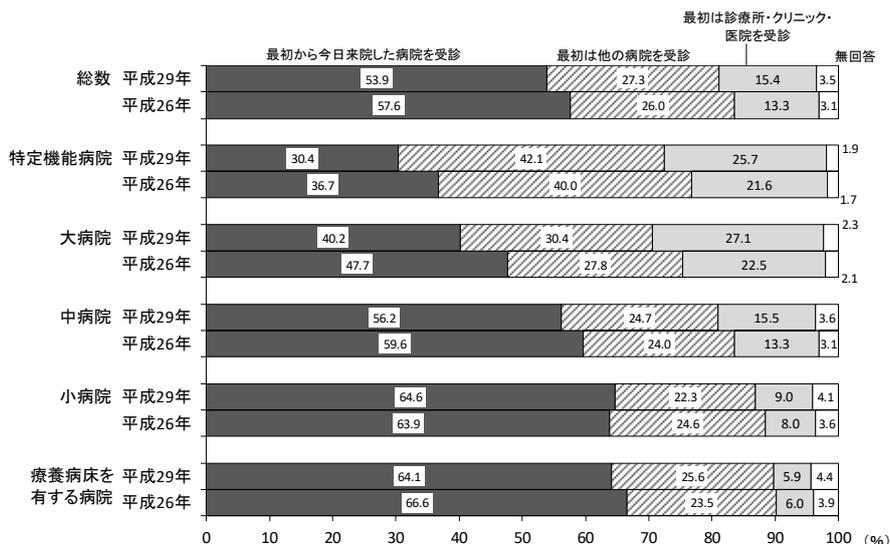
4 最初の受診場所（外来患者のみ）

外来患者が、病気や症状について最初に受診した場所をみると、「最初から今日来院した病院を受診」が53.9%と最も多く、次いで「最初は他の病院を受診」が27.3%、「最初は診療所・クリニック・医院を受診」が15.4%となっている。

病院の種類別にみると、特定機能病院では「最初は他の病院を受診」が42.1%と最も多く、それ以外の病院では「最初から今日来院した病院を受診」が最も多くなっている。

また、前回と比べると、特定機能病院、大病院及び中病院において、「最初から今日来院した病院を受診」が低下し、「最初は他の病院を受診」、「最初は診療所・クリニック・医院を受診」が上昇している。（図7）

図7 病院の種類別にみた外来患者の最初の受診場所（基本集計）



注：「診察・治療・検査などを受ける」ため来院した者の数値である。

5 来院の目的（外来患者のみ）

(1) 病院の種類別

外来患者の来院の目的をみると、「診察・治療・検査などを受ける」は89.9%、「健康診断（人間ドックを含む）・予防接種」は3.9%となっている。

来院の目的が「診察・治療・検査などを受ける」者について、診察・治療・検査などの内容をみると「定期的な診察と薬の処方を受ける」が40.9%と最も多く、次いで「症状を診てもらう」が24.2%、「検査を受ける、または検査結果を聞く」が17.2%となっている。

病院の種類別にみると、全ての病院で「定期的な診察と薬の処方を受ける」が最も多く、次いで、特定機能病院及び大病院では「検査を受ける、または検査結果を聞く」が、中病院、小病院及び療養病床を有する病院では「症状を診てもらう」が多くなっている。（表2）

表2 病院の種類別にみた外来患者の来院の目的（基本集計）

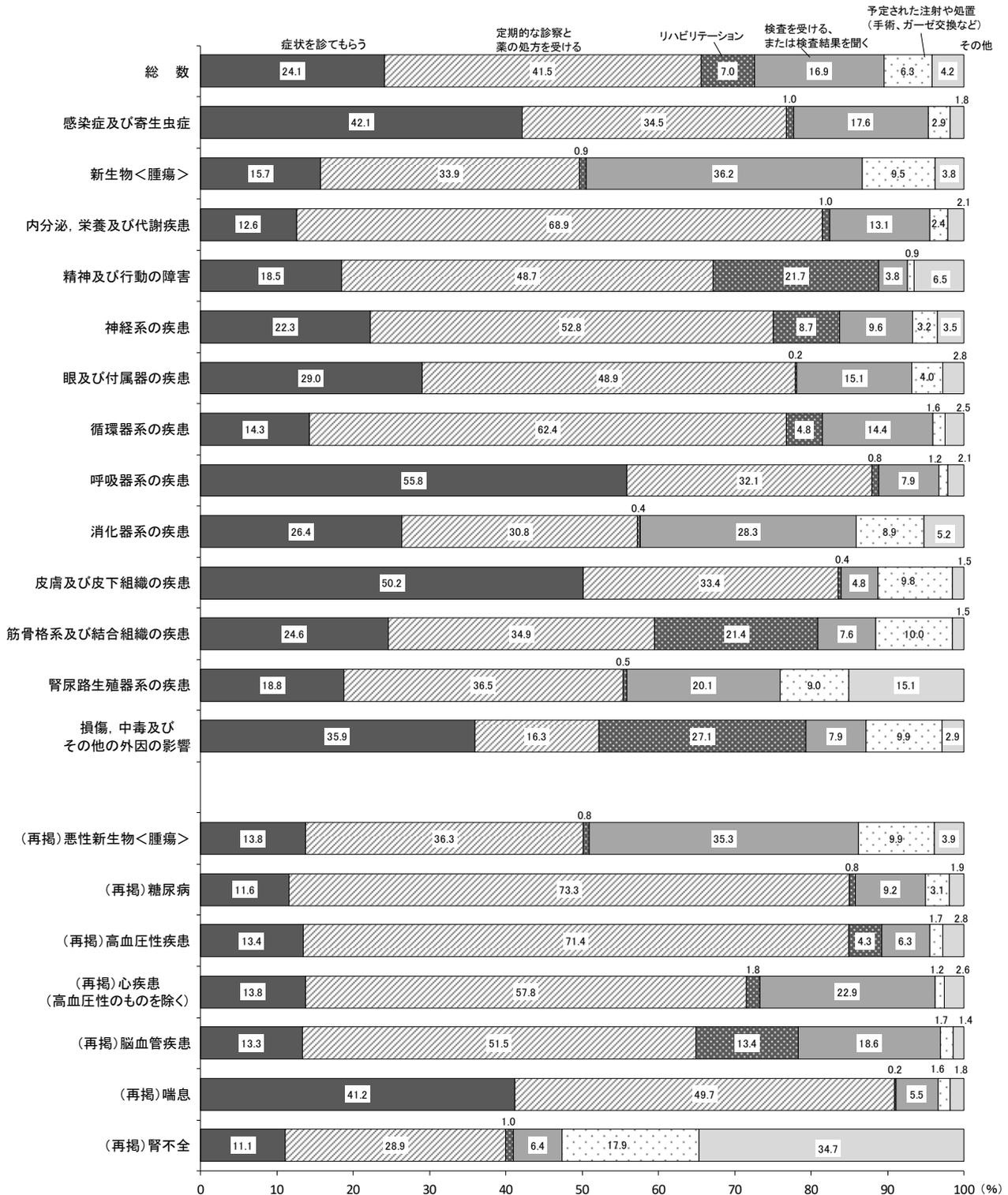
	総数	平成29年								健康診断 (人間ドックを含む) 予防接種	無回答
		診察・治療・検査 などを受ける	症状を診て もらう	定期的な 診察と薬の 処方を受 ける	リハビリ テーション	検査を受 ける、ま たは検査 結果を聞 く	予定され た注射や 処置(手 術、ガー ゼ交換等)	その他			
総数	100.0	89.9 (100.0)	(24.2)	(40.9)	(7.1)	(17.2)	(6.3)	(4.4)	3.9	6.2	
特定機能病院	100.0	93.9 (100.0)	(20.3)	(44.9)	(1.2)	(23.4)	(6.4)	(3.8)	0.3	5.8	
大病院	100.0	92.3 (100.0)	(21.8)	(40.7)	(1.5)	(25.8)	(6.0)	(4.2)	2.1	5.6	
中病院	100.0	89.3 (100.0)	(26.0)	(41.4)	(4.1)	(18.8)	(5.5)	(4.2)	4.8	5.9	
小病院	100.0	89.3 (100.0)	(26.8)	(38.0)	(10.9)	(10.3)	(8.6)	(5.4)	4.1	6.6	
療養病床を有する病院	100.0	88.1 (100.0)	(23.2)	(40.2)	(16.2)	(9.2)	(6.5)	(4.7)	5.0	6.9	

(2) 主な傷病分類別【関連集計】

主な傷病分類別に診察・治療・検査などの内容をみると、「新生物〈腫瘍〉」では「検査を受ける、または検査結果を聞く」が36.2%と最も多く、「内分泌、栄養及び代謝疾患」及び「循環器系の疾患」では「定期的な診察と薬の処方を受ける」が、それぞれ68.9%、62.4%と最も多くなっている。「呼吸器系の疾患」では「症状を診てもらおう」が55.8%と最も多くなっている。(図8)

追加 図8 主な傷病分類別にみた外来患者の診察・治療・検査などの内容(関連集計)

平成29年



注:「診察・治療・検査などを受ける」ため来院した者の数値である。

6 自覚症状（外来患者のみ）

（1）自覚症状の有無、自覚症状はなかったが受診した理由

外来患者が受診した病気や症状を初めて医師に診てもらった時、「自覚症状があった」は68.0%、「自覚症状がなかった」は25.8%となっている(図9、統計表5)。

「自覚症状がなかった」と回答した者の受診した理由をみると、「健康診断(人間ドックを含む)で指摘された」が42.7%と最も高く、次いで、「他の医療機関等で受診を勧められた」が23.0%となっている(図10、統計表5)。

図9 外来患者の自覚症状の有無(基本集計)

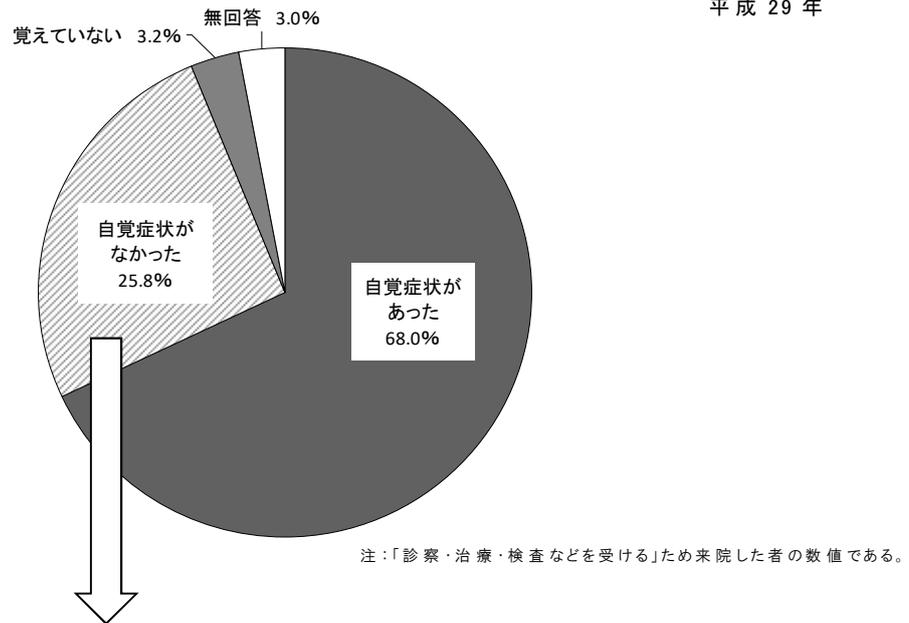
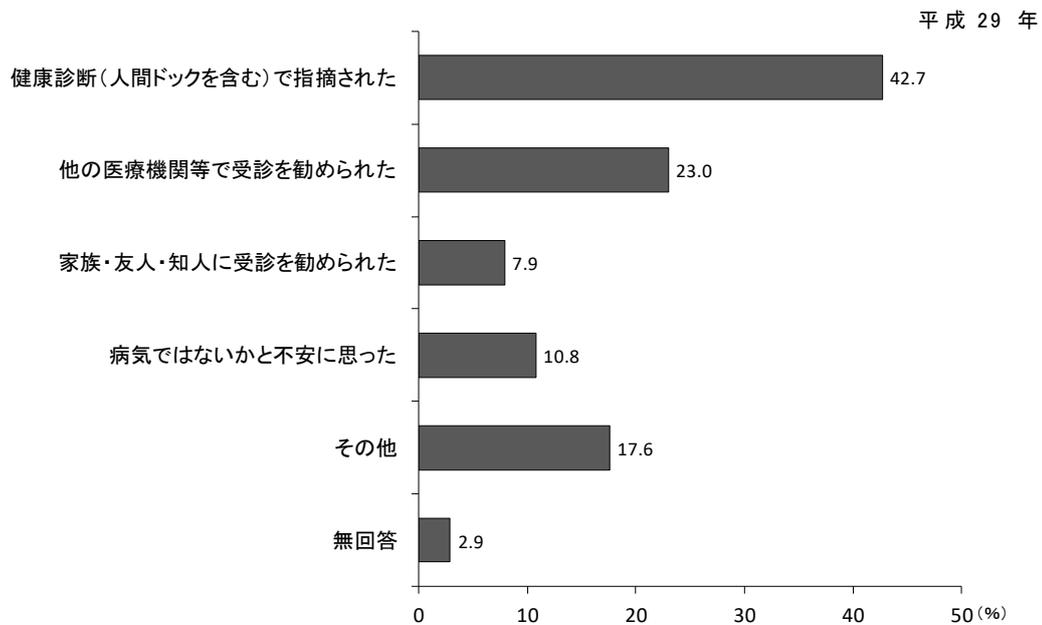


図10 外来患者の自覚症状はなかったが受診した理由(複数回答)(基本集計)



注:「診察・治療・検査などを受ける」ため来院した者で「自覚症状がなかった」者の数値である。

(2) 受診までの期間、受診までに時間がかかった理由

「自覚症状があった」「自覚症状がなかった」と回答した者について、受診までの期間(症状を自覚した時から、又は自覚症状がなかったが受診した理由が生じた時から最初の受診までの期間)をみると、「1週間～1か月未満」が18.6%と最も多く、次いで、「1～3日」が15.6%となっている。

自覚症状の有無別にみると、「自覚症状があった」では「1～3日」が18.1%と最も多く、「自覚症状がなかった」では「1週間～1か月未満」が22.6%と最も多くなっている。(表3、統計表6)

表3 自覚症状の有無別にみた外来患者の受診までの期間(基本集計)

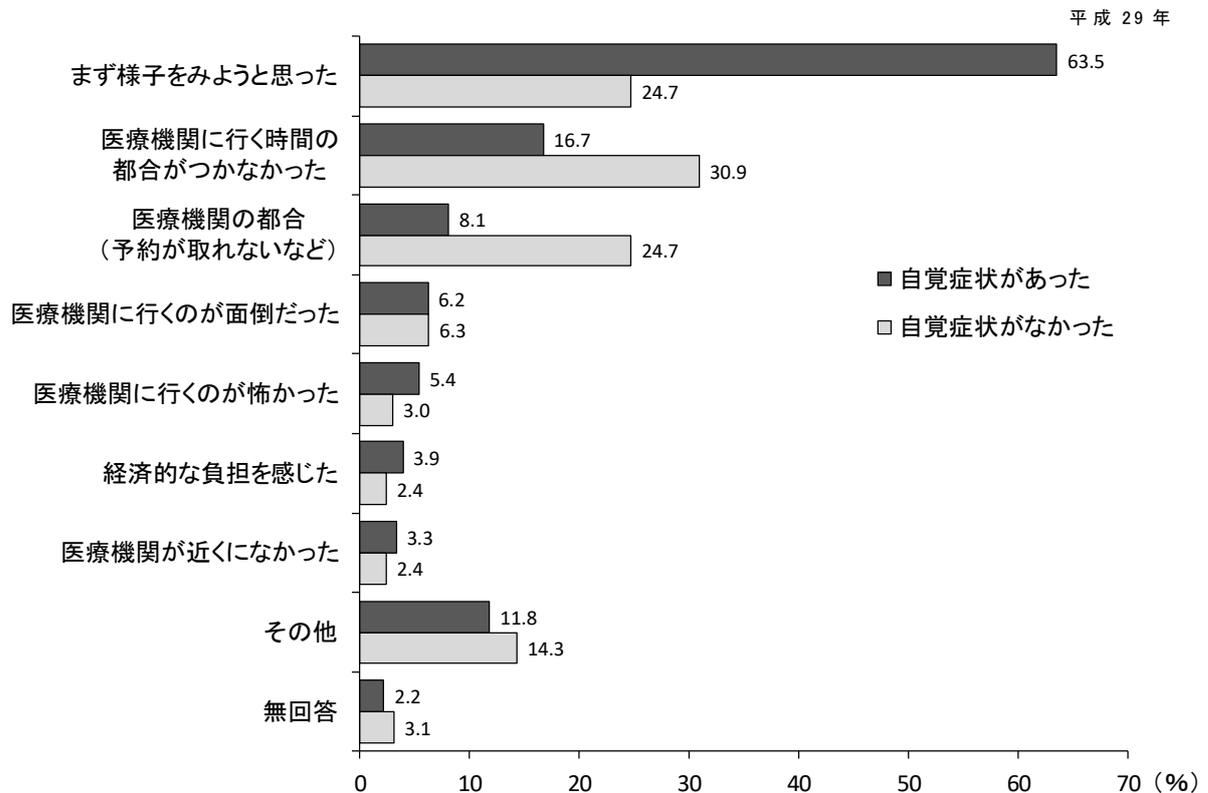
(単位:%) 平成29年

	総数	24時間未満	1～3日	4～6日	1週間～1か月未満	1か月～3か月未満	3か月以上	覚えていない	無回答
総数	100.0	12.8	15.6	7.2	18.6	10.5	11.5	13.4	10.2
自覚症状があった	100.0	15.6	18.1	7.6	17.1	10.1	13.2	11.9	6.5
自覚症状がなかった	100.0	5.6	9.2	6.1	22.6	11.6	7.2	17.5	20.2

注:「診察・治療・検査などを受ける」ため来院した者で、「自覚症状があった」者及び「自覚症状がなかった」者の数値である。

受診までの期間が「1週間以上」の者について、自覚症状の有無別に受診までに時間がかかった理由をみると、「自覚症状があった」では「まず様子を見ようと思った」が63.5%と最も高く、「自覚症状がなかった」では「医療機関に行く時間の都合がつかなかった」が30.9%と最も高くなっている(図11、統計表7)。

図11 外来患者の受診までに時間がかかった理由(複数回答)(基本集計)



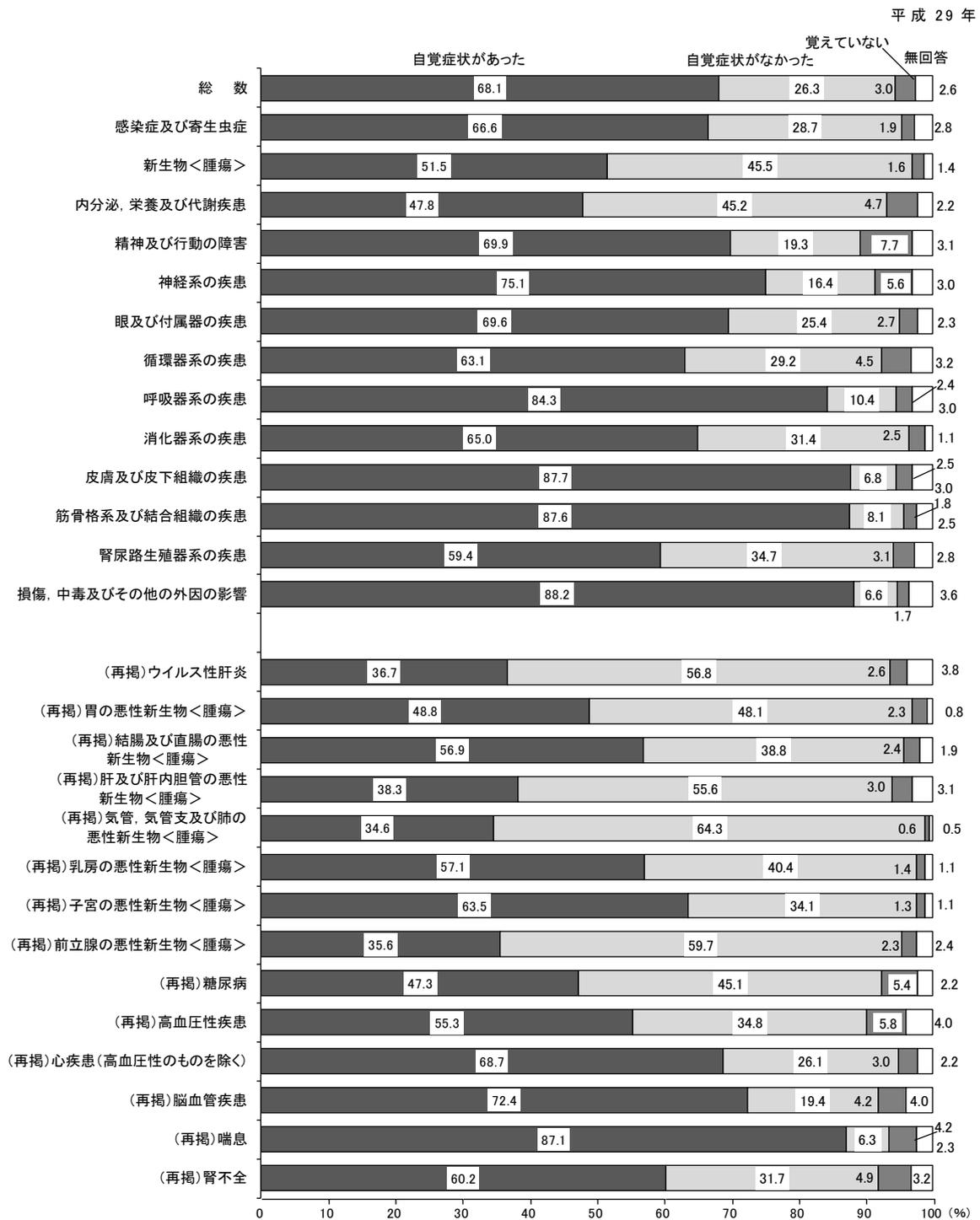
注:「診察・治療・検査などを受ける」ため来院した者で、「自覚症状があった」者及び「自覚症状がなかった」者のうち受診までの期間が「1週間以上」の者の数値である。

(3) 主な傷病分類別にみた自覚症状の有無【関連集計】

主な傷病分類別に自覚症状の有無をみると、「自覚症状がなかった」は、「新生物<腫瘍>」で45.5%、「内分泌, 栄養及び代謝疾患」で45.2%と高くなっている。

悪性新生物<腫瘍>についてみると、「自覚症状がなかった」が多かったものは、「気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>」が64.3%、「前立腺の悪性新生物<腫瘍>」が59.7%、「肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>」が55.6%となっている。(図12)

追加 図12 主な傷病分類別にみた外来患者の自覚症状の有無(関連集計)



注:「診察・治療・検査などを受ける」ため来院した者の数値である。

7 入院までの期間、入院までに時間がかかった理由（入院患者のみ）

入院患者の入院までの期間（入院が必要と診断されてから実際に入院するまでの期間）をみると、「1週間未満（緊急入院または救急搬送を含む）」が 55.9%と最も多く、次いで、「1週間～1か月未満」が 22.3%となっている（表4）。

表4 病院の種類別にみた入院患者の入院までの期間（基本集計）

(単位:%)

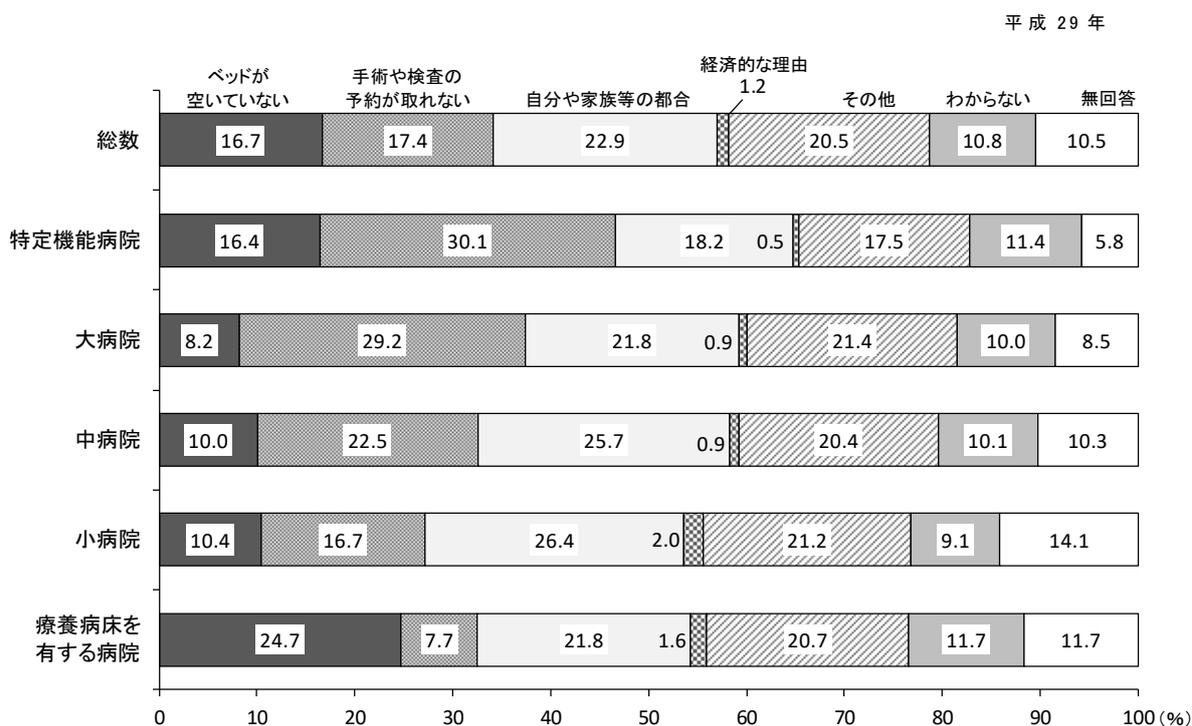
平成29年

	総数	1週間未満 (緊急入院または救急搬送を含む)	1週間～1か月未満	1か月以上	覚えていない	無回答
総数	100.0	55.9	22.3	12.9	4.0	4.9
特定機能病院	100.0	44.6	29.6	22.6	1.0	2.3
大病院	100.0	54.8	24.5	15.8	1.5	3.5
中病院	100.0	59.4	21.9	12.6	1.7	4.5
小病院	100.0	60.8	19.2	11.2	2.2	6.5
療養病床を有する病院	100.0	54.8	21.5	11.4	6.6	5.6

入院までの期間が「1週間～1か月未満」及び「1か月以上」の者について、入院までに時間がかかった理由をみると、「自分や家族等の都合」が 22.9%と最も多く、次いで「その他」が 20.5%、「手術や検査の予約が取れない」が 17.4%となっている。

病院の種類別にみると、特定機能病院及び大病院では「手術や検査の予約が取れない」が、中病院及び小病院では「自分や家族等の都合」が、療養病床を有する病院では「ベッドが空いていない」が最も多くなっている。（図13）

図13 病院の種類別にみた入院患者の入院までに時間がかかった理由（基本集計）



注：本図では、平成26年調査の結果との時系列比較の観点から、入院までの期間が「1週間～1か月未満」「1か月以上」「覚えていない」のうち、「1週間～1か月未満」及び「1か月以上」の者について集計している。

8 医師からの説明の有無、程度、説明に対する疑問や意見

(1) 医師からの説明の有無、説明の程度

病気や症状に対する診断や治療方針について、医師から「説明を受けた」者は、外来で95.1%、入院で94.7%となっている。また、医師から説明を受けた者について、「説明は十分だった」は外来で94.3%、入院で93.3%、「説明は十分ではなかった」は外来で5.7%、入院で6.7%となっている。(表5)

表5 外来—入院、病院の種類別にみた医師からの説明の有無、説明の程度(基本集計)

	総数	平成29年								説明を 受けて いない	無回答
		説明を受けた	説明は十分 だった	十分 だった	まあ まあ 十分 だった	説明は 十分では なかった	あまり 十分では なかった	十分では なかった			
外来	100.0	95.1 (100.0)	(94.3)	(59.7)	(34.7)	(5.7)	(3.9)	(1.7)	0.6	4.3	
前回(平成26年)	100.0	95.6 (100.0)	(94.0)	(58.8)	(35.2)	(6.0)	(4.3)	(1.7)	0.5	3.9	
特定機能病院	100.0	97.3 (100.0)	(94.4)	(59.2)	(35.2)	(5.6)	(4.0)	(1.7)	0.4	2.3	
大病院	100.0	96.4 (100.0)	(93.8)	(57.9)	(35.9)	(6.2)	(4.3)	(1.9)	0.6	3.0	
中病院	100.0	94.8 (100.0)	(94.1)	(58.9)	(35.2)	(5.9)	(4.0)	(1.9)	0.7	4.5	
小病院	100.0	94.3 (100.0)	(95.2)	(62.1)	(33.1)	(4.8)	(3.5)	(1.3)	0.5	5.2	
療養病床を有する病院	100.0	94.1 (100.0)	(94.7)	(61.2)	(33.6)	(5.3)	(3.6)	(1.7)	0.8	5.1	
入院	100.0	94.7 (100.0)	(93.3)	(66.7)	(26.6)	(6.7)	(4.4)	(2.3)	1.8	3.5	
前回(平成26年)	100.0	94.3 (100.0)	(93.6)	(67.0)	(26.6)	(6.4)	(4.4)	(2.0)	2.2	3.5	
特定機能病院	100.0	97.9 (100.0)	(95.7)	(70.1)	(25.7)	(4.3)	(2.9)	(1.3)	0.5	1.6	
大病院	100.0	96.9 (100.0)	(95.2)	(70.9)	(24.4)	(4.8)	(3.3)	(1.4)	0.8	2.2	
中病院	100.0	95.7 (100.0)	(94.7)	(69.4)	(25.3)	(5.3)	(3.5)	(1.8)	1.1	3.2	
小病院	100.0	94.1 (100.0)	(93.5)	(66.2)	(27.3)	(6.5)	(4.4)	(2.1)	1.7	4.2	
療養病床を有する病院	100.0	93.1 (100.0)	(91.4)	(63.3)	(28.1)	(8.6)	(5.4)	(3.1)	2.7	4.2	

注：外来は「診察・治療・検査などを受ける」ため来院した者の数値である。

(2) 医師から受けた説明に対する疑問や意見

医師から診断や治療方針の説明を受けた者について、疑問や意見を医師に「伝えられた」は外来で88.8%、入院で83.3%、「伝えられなかった」は外来で6.2%、入院で6.9%となっている(表6)。

表6 外来—入院、病院の種類別にみた医師から受けた説明に対する疑問や意見(基本集計)

	総数	平成29年							疑問や意見 は特に なかった	無回答
		伝えられた	十分に 伝えられた	まあ まあ 伝えられた	伝えられ なかった	あまり 伝えられ なかった	まったく 伝えられ なかった			
外来	100.0	88.8	45.3	43.4	6.2	5.6	0.7	4.1	0.9	
前回(平成26年)	100.0	88.5	44.8	43.8	6.2	5.6	0.6	4.0	1.2	
特定機能病院	100.0	90.0	43.7	46.3	6.6	6.1	0.5	2.8	0.6	
大病院	100.0	88.6	42.8	45.8	7.2	6.5	0.7	3.5	0.7	
中病院	100.0	88.6	44.7	44.0	6.4	5.7	0.7	4.0	1.0	
小病院	100.0	89.6	48.5	41.1	5.2	4.6	0.6	4.2	1.0	
療養病床を有する病院	100.0	88.3	47.5	40.8	5.7	4.8	0.9	5.0	1.1	
入院	100.0	83.3	48.6	34.7	6.9	5.7	1.3	7.7	2.1	
前回(平成26年)	100.0	84.1	50.2	33.9	6.8	5.6	1.2	7.1	2.1	
特定機能病院	100.0	88.9	49.5	39.4	5.1	4.7	0.4	4.8	1.2	
大病院	100.0	86.8	49.8	36.9	5.6	4.9	0.8	5.9	1.7	
中病院	100.0	85.0	50.3	34.6	5.9	5.0	0.8	7.0	2.2	
小病院	100.0	83.0	49.0	34.1	7.3	6.1	1.2	8.0	1.7	
療養病床を有する病院	100.0	80.6	46.9	33.6	8.2	6.3	1.8	9.0	2.3	

注：1) 外来は「診察・治療・検査などを受ける」ため来院した者で、「医師から説明を受けた」者の数値である。

2) 入院は「医師から説明を受けた」者の数値である。

9 生活習慣上の助言や指導【関連集計】

外来患者が、受診した病気や症状の治療や療養に関し、医師や看護師、管理栄養士などから生活習慣上の「助言や指導を受けた」は56.3%、「助言や指導を受けていない」は38.7%となっている。また、「助言や指導を受けた」者について、受けた助言や指導の内容をみると、「栄養・食生活」が55.2%と最も高く、次いで「身体活動・運動」48.3%となっている。

主な傷病分類別にみると、「助言や指導を受けた」が高いのは「内分泌、栄養及び代謝疾患」75.3%、「循環器系の疾患」65.5%で、主な傷病別にみると、「内分泌、栄養及び代謝疾患」の「糖尿病」が83.9%となっており、「循環器系の疾患」の「脳血管疾患」が67.4%、「心疾患（高血圧性のものを除く）」が67.0%、「高血圧性疾患」が64.0%となっている。（表7）

追加

表7 主な傷病分類別にみた外来患者の生活習慣上の助言や指導の有無（関連集計）

	総数	助言や指導を受けた									助言や指導を受けていない	無回答
		助言や指導の内容（複数回答）										
		栄養・食生活	身体活動・運動	休養・睡眠	飲酒	喫煙	その他	無回答				
総数	100.0	56.3 (100.0)	(55.2)	(48.3)	(16.7)	(10.5)	(9.4)	(13.8)	(1.4)	38.7	5.0	
感染症及び寄生虫症	100.0	48.8 (100.0)	(49.9)	(34.6)	(23.3)	(15.5)	(9.6)	(17.5)	(3.8)	47.9	3.3	
新生物<腫瘍>	100.0	58.5 (100.0)	(62.1)	(44.4)	(17.8)	(14.4)	(11.9)	(14.9)	(1.3)	37.0	4.5	
内分泌、栄養及び代謝疾患	100.0	75.3 (100.0)	(85.2)	(47.7)	(8.6)	(10.8)	(10.5)	(5.6)	(0.4)	20.9	3.9	
精神及び行動の障害	100.0	58.5 (100.0)	(30.6)	(38.2)	(51.4)	(11.4)	(5.4)	(24.0)	(0.9)	37.5	4.0	
神経系の疾患	100.0	58.5 (100.0)	(40.7)	(55.9)	(35.8)	(10.7)	(7.4)	(14.4)	(0.5)	37.3	4.2	
眼及び付属器の疾患	100.0	38.4 (100.0)	(34.9)	(31.7)	(20.0)	(8.0)	(8.0)	(31.3)	(2.5)	55.5	6.1	
循環器系の疾患	100.0	65.5 (100.0)	(64.5)	(50.5)	(15.6)	(12.9)	(11.7)	(6.8)	(1.7)	29.8	4.8	
呼吸器系の疾患	100.0	39.5 (100.0)	(45.0)	(39.3)	(22.7)	(7.4)	(13.0)	(21.5)	(1.3)	55.5	4.9	
消化器系の疾患	100.0	52.2 (100.0)	(60.2)	(31.5)	(14.2)	(16.4)	(10.8)	(22.5)	(1.4)	43.0	4.8	
皮膚及び皮下組織の疾患	100.0	43.4 (100.0)	(39.1)	(34.7)	(16.2)	(11.7)	(7.6)	(32.9)	(3.1)	52.0	4.6	
筋骨格系及び結合組織の疾患	100.0	57.7 (100.0)	(32.5)	(71.8)	(12.1)	(4.3)	(4.8)	(9.4)	(1.3)	36.6	5.7	
泌尿路生殖器系の疾患	100.0	58.9 (100.0)	(78.5)	(33.3)	(12.3)	(9.5)	(9.7)	(11.0)	(1.0)	35.7	5.4	
損傷、中毒及びその他の外因の影響	100.0	51.3 (100.0)	(24.3)	(72.4)	(8.9)	(5.2)	(5.1)	(12.8)	(1.9)	42.0	6.6	
(再掲)主な傷病												
ウイルス性肝炎	100.0	60.8 (100.0)	(62.7)	(38.6)	(21.2)	(31.0)	(16.6)	(9.3)	-	36.6	2.7	
胃の悪性新生物<腫瘍>	100.0	71.4 (100.0)	(82.5)	(32.2)	(10.0)	(12.6)	(11.7)	(4.3)	(2.4)	24.1	4.5	
結腸及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	100.0	69.3 (100.0)	(75.1)	(41.4)	(12.1)	(14.2)	(9.9)	(13.8)	(0.1)	26.3	4.4	
肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	100.0	71.7 (100.0)	(62.9)	(32.4)	(23.9)	(34.1)	(9.2)	(7.7)	(1.1)	22.5	5.7	
気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	100.0	64.6 (100.0)	(55.8)	(43.8)	(22.4)	(12.9)	(24.0)	(13.9)	(1.9)	30.7	4.7	
乳房の悪性新生物<腫瘍>	100.0	63.2 (100.0)	(50.2)	(59.9)	(28.0)	(9.6)	(8.7)	(19.9)	(0.7)	33.3	3.6	
子宮の悪性新生物<腫瘍>	100.0	56.1 (100.0)	(54.5)	(60.3)	(20.4)	(6.6)	(4.8)	(21.6)	-	35.8	8.1	
前立腺の悪性新生物<腫瘍>	100.0	51.1 (100.0)	(50.0)	(51.0)	(8.1)	(25.4)	(12.6)	(10.2)	(2.0)	42.0	6.8	
糖尿病	100.0	83.9 (100.0)	(92.7)	(47.2)	(6.4)	(11.0)	(11.4)	(4.0)	(0.4)	12.1	4.0	
高血圧性疾患	100.0	64.0 (100.0)	(67.0)	(48.7)	(15.1)	(12.1)	(8.7)	(4.7)	(2.2)	30.3	5.7	
心疾患（高血圧性のものを除く）	100.0	67.0 (100.0)	(68.5)	(47.7)	(13.6)	(14.0)	(14.2)	(7.4)	(1.7)	29.0	4.0	
脳血管疾患	100.0	67.4 (100.0)	(57.2)	(60.1)	(20.1)	(15.3)	(14.5)	(8.5)	(0.8)	28.7	3.9	
喘息	100.0	44.8 (100.0)	(38.0)	(39.7)	(24.3)	(7.8)	(12.4)	(23.1)	(2.7)	51.0	4.1	
腎不全	100.0	86.1 (100.0)	(94.5)	(32.5)	(9.9)	(9.1)	(10.6)	(4.5)	(0.8)	10.0	3.9	

注：「診察・治療・検査などを受ける」ため来院した者の数値である。

10 今後の治療・療養の希望（入院患者のみ）

（1）病院の種類別

入院患者の今後の治療・療養の希望をみると、「完治するまでこの病院に入院していきたい」が48.1%で最も多く、次いで「自宅から病院や診療所に通院しながら、治療・療養したい」が28.8%となっている。

病院の種類別にみると、「完治するまでこの病院に入院していきたい」は、療養病床を有する病院で51.2%と最も高く、「自宅から病院や診療所に通院しながら、治療・療養したい」は、特定機能病院で40.5%と最も高くなっている。（表8）

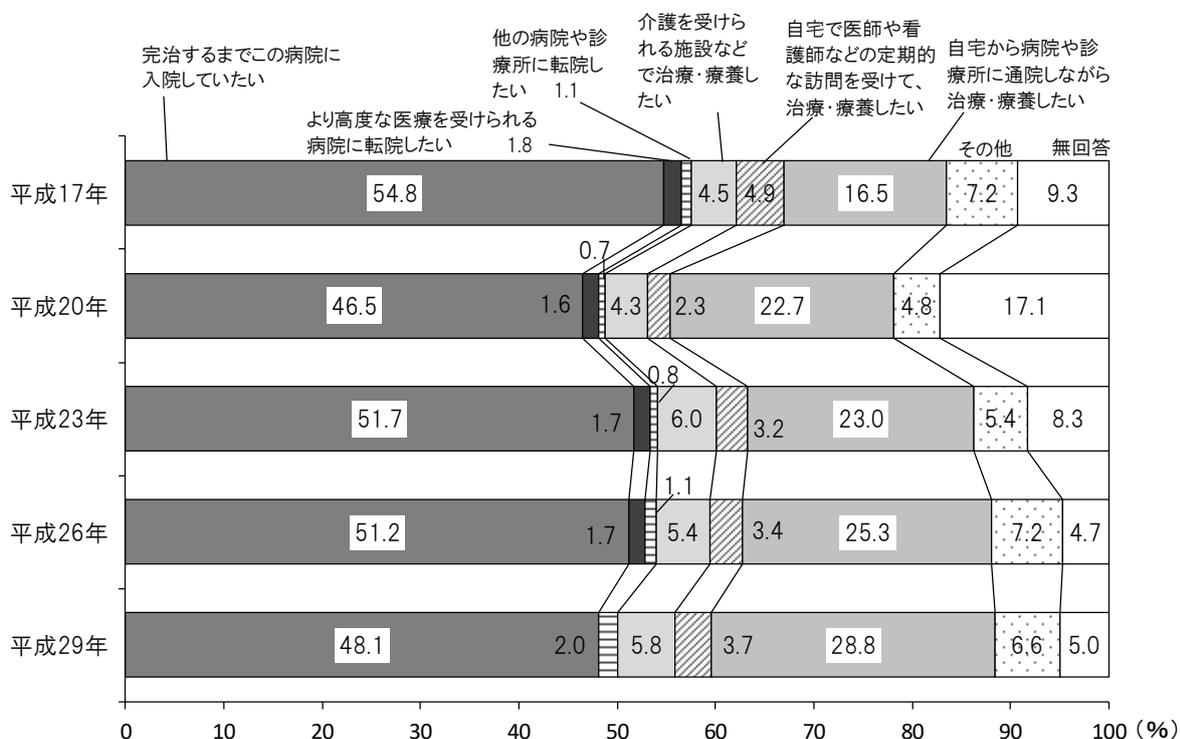
表8 病院の種類別にみた入院患者の今後の治療・療養の希望（基本集計）

（単位：%） 平成29年

	総数	完治するまでこの病院に入院していきたい	他の病院や診療所に転院したい	介護を受けられる施設などで治療・療養したい	自宅で医師や看護師などの定期的な訪問を受けて、治療・療養したい	自宅で医師や看護師などの定期的な訪問を受けて、治療・療養したい	自宅から病院や診療所に通院しながら、治療・療養したい	その他	無回答
総数	100.0	48.1	2.0	5.8	3.7	28.8	6.6	5.0	
特定機能病院	100.0	44.7	2.7	1.6	2.4	40.5	5.2	2.9	
大病院	100.0	44.1	2.4	2.8	2.7	39.0	5.5	3.6	
中病院	100.0	46.3	2.2	4.5	3.5	33.2	5.5	4.8	
小病院	100.0	43.8	1.8	7.6	4.7	29.5	6.6	5.9	
療養病床を有する病院	100.0	51.2	1.7	7.7	4.2	21.8	7.9	5.6	

年次推移をみると、「自宅から病院や診療所に通院しながら、治療・療養したい」は増加傾向となっており、平成26年から3.5ポイント上昇している（図14）。

図14 入院患者の今後の治療・療養の希望（年次推移）（基本集計）



注：1)平成23年は、岩手県、宮城県及び福島県を除いた数値である。
 2)平成29年は「より高度な医療を受けられる病院に転院したい」は「他の病院や診療所に転院したい」と統合した。
 3)「今後の治療・療養の希望」は、平成17年から聴取している項目である。

(2) 病床の種類別【関連集計】

病床の種類別にみると、療養病床、一般病床ともに、「完治するまでこの病院に入院したい」が療養病床 55.7%、一般病床 46.4%と最も多く、次いで「自宅から病院や診療所に通院しながら、治療・療養したい」が療養病床 15.4%、一般病床 33.8%となっている(表9)。

追加

表9 病床の種類別にみた入院患者の今後の治療・療養の希望(関連集計)

(単位:%) 平成29年

	総 数	完治するまで この病院に 入院したい	他の病院や 診療所に 転院した い	介護を受けられ 施設などで 治療・療 養した い	自宅で医師や 看護師などの 定期的な訪問 を受けて治療 ・療養した い	自宅から病院 や診療所に 通院しながら 治療・療 養した い	その 他	無 回 答
総 数	100.0	48.1	2.0	6.0	3.6	29.4	6.6	4.3
療養病床(再掲)	100.0	55.7	1.0	9.8	4.1	15.4	9.7	4.2
一般病床(再掲)	100.0	46.4	2.1	5.1	3.3	33.8	5.4	4.0

(3) 性・年齢階級別

性・年齢階級別にみると、男女ともに、「完治するまでこの病院に入院したい」が男 46.7%、女 49.2%と最も多く、次いで「自宅から病院や診療所に通院しながら、治療・療養したい」が男 31.3%、女 26.8%となっている。

また、「完治するまでこの病院に入院したい」が、男の 15~39 歳を除くいずれの年齢階級においても4~5割程度と最も多く、一方、男の 15~39 歳では「自宅から病院や診療所に通院しながら、治療・療養したい」が 50.3%と最も多くなっている。(表 10)

追加

表 10 性・年齢階級別にみた入院患者の今後の治療・療養の希望(基本集計)

(単位:%) 平成29年

	総 数	完治するまで この病院に 入院したい	他の病院や 診療所に 転院した い	介護を受けられ 施設などで 治療・療 養した い	自宅で医師や 看護師などの 定期的な訪問 を受けて治療 ・療養した い	自宅から病院 や診療所に 通院しながら 治療・療 養した い	その 他	無 回 答
総 数	100.0	48.1	2.0	5.8	3.7	28.8	6.6	5.0
0 ~ 14 歳	100.0	53.7	1.7	0.5	1.5	35.2	6.1	1.3
15 ~ 39	100.0	40.2	2.2	0.2	1.7	42.8	10.7	2.3
40 ~ 64	100.0	43.6	3.0	1.3	3.0	38.6	7.6	3.0
65 ~ 74	100.0	46.5	2.2	3.6	3.2	34.3	6.2	4.1
75 歳以上	100.0	50.3	1.6	8.3	4.3	23.5	6.3	5.6
男	100.0	46.7	2.2	5.1	4.0	31.3	6.0	4.7
0 ~ 14 歳	100.0	53.0	1.5	0.7	1.3	36.2	6.5	0.8
15 ~ 39	100.0	35.3	3.1	0.2	1.5	50.3	6.9	2.7
40 ~ 64	100.0	43.5	3.3	1.7	3.0	38.0	7.9	2.7
65 ~ 74	100.0	46.7	2.2	3.8	3.3	34.3	5.7	4.0
75 歳以上	100.0	48.8	1.8	7.7	5.0	25.7	5.3	5.7
女	100.0	49.2	1.8	6.4	3.5	26.8	7.2	5.2
0 ~ 14 歳	100.0	54.5	2.0	0.4	1.6	33.9	5.6	2.1
15 ~ 39	100.0	43.4	1.6	0.2	1.8	37.9	13.1	2.1
40 ~ 64	100.0	43.8	2.6	0.8	3.0	39.4	7.1	3.3
65 ~ 74	100.0	46.1	2.2	3.3	2.9	34.3	6.7	4.3
75 歳以上	100.0	51.2	1.5	8.7	3.8	22.3	6.9	5.6

注:年齢の総数には年齢不詳を含む。

11 退院の許可が出た場合の自宅療養の見通し（入院患者のみ）

(1) 病院の種類別

入院患者の退院の許可が出た場合の自宅療養の見通しをみると、「自宅で療養できる」は 55.5%、「自宅で療養できない」は 23.6%となっている。

病院の種類別にみると、「自宅で療養できる」は特定機能病院が 74.6%と最も高く、「自宅で療養できない」は療養病床を有する病院が 35.1%と最も高くなっている。

「自宅で療養できない」と回答した者について、自宅療養を可能にする条件をみると、「入浴や食事などの介護が受けられるサービス」が 39.7%と最も高く、次いで、「家族の協力」が 31.9%、「療養に必要な用具(車いす、ベッドなど)」が 25.0%となっている。

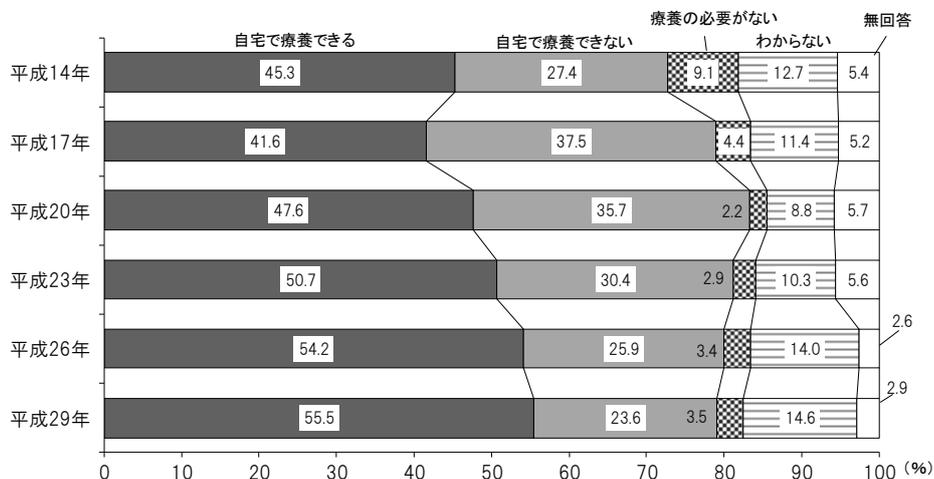
病院の種類別にみると、特定機能病院及び大病院では「家族の協力」が最も高く、中病院、小病院及び療養病床を有する病院では「入浴や食事などの介護が受けられるサービス」が最も高くなっている。(表 11)

表 11 病院の種類別にみた退院の許可が出た場合の入院患者の自宅療養の見通し(基本集計)

	総数	自宅で療養できる	自宅で療養できない	自宅療養を可能にする条件(複数回答)											療養の必要がない	わからない	無回答
				家族の協力	入浴や食事などの介護が受けられるサービス	通院手段の確保	医師、看護師などの定期的な訪問	緊急時の病院や診療所への連絡体制	療養のための指導(服薬・リハビリ指導など)	療養のための改築(手すりの設置など)	(車いす、ベッドなど)療養に必要な用具	その他	いどの条件が整えばいいのかわからない	無回答			
総数	100.0	55.5	23.6 (100.0)	(31.9)	(39.7)	(21.2)	(22.7)	(23.0)	(21.9)	(17.6)	(25.0)	(23.0)	(14.0)	(8.1)	3.5	14.6	2.9
特定機能病院	100.0	74.6	8.3 (100.0)	(43.1)	(36.0)	(30.9)	(23.0)	(28.3)	(31.2)	(22.0)	(26.8)	(13.6)	(7.6)	(4.4)	4.6	11.2	1.3
大病院	100.0	72.1	10.0 (100.0)	(42.5)	(37.0)	(28.6)	(20.8)	(26.6)	(30.0)	(21.2)	(27.4)	(15.5)	(9.0)	(4.4)	4.5	11.7	1.7
中病院	100.0	66.0	14.7 (100.0)	(37.8)	(43.1)	(24.8)	(21.9)	(24.6)	(29.0)	(22.5)	(28.0)	(17.5)	(10.0)	(6.0)	4.1	12.7	2.3
小病院	100.0	56.6	20.6 (100.0)	(35.1)	(43.1)	(22.1)	(22.8)	(19.9)	(27.3)	(20.6)	(25.8)	(17.6)	(14.8)	(6.1)	5.0	15.3	2.6
療養病床を有する病院	100.0	41.8	35.1 (100.0)	(28.9)	(38.8)	(19.3)	(23.1)	(22.4)	(18.6)	(15.7)	(23.9)	(25.8)	(15.6)	(9.2)	2.4	16.8	3.8

退院の許可が出た場合の自宅療養の見通しの年次推移をみると、「自宅で療養できる」は平成 17 年以降増加しており、平成 26 年から 1.3 ポイント上昇している(図 15)。

図 15 退院の許可が出た場合の入院患者の自宅療養の見通し(年次推移)(基本集計)



注:1)平成 23 年は岩手県、宮城県及び福島県を除いた数値である。
2)「退院の許可が出た場合の自宅療養の見通し」は、平成 14 年から聴取している項目である。

(2) 病床の種類、同居の有無別【関連集計】

病床の種類別にみると、療養病床では「自宅で療養できる」が30.1%、「自宅で療養できない」が48.6%となっている。一方、一般病床では「自宅で療養できる」が65.1%、「自宅で療養できない」が15.8%となっている。

同居の有無別にみると、「同居人なし」は「同居人あり」に比べ、「自宅で療養できない」の割合が高く、特に療養病床の「同居人なし」は「自宅で療養できない」が60.5%となっている。(表12)

追加

表12 病床の種類、同居の有無別にみた退院の許可が出た場合の入院患者の自宅療養の見通し(関連集計)

	総数	自宅で療養できる	自宅で療養できない	自宅療養を可能にする条件(複数回答)										療養の必要がない	わからない	無回答	
				家族の協力	入浴や食事などの介護が受けられる	通院手段の確保	医師、看護師などの定期的な訪問	緊急時の病院や診療所への連絡体制	療養のための指導(服薬・リハビリ)	療養のための改築(手すりの設置など)	療養に必要な用具(車いす、ベッドなど)	その他	整えられないのか				無回答
総数	100.0	56.5	23.0 (100.0)	(33.8)	(40.7)	(21.7)	(23.2)	(24.5)	(22.7)	(18.3)	(25.9)	(24.6)	(12.4)	(7.9)	3.3	14.8	2.4
同居人あり	100.0	63.8	18.0 (100.0)	(38.0)	(46.5)	(24.4)	(27.3)	(29.2)	(26.8)	(22.6)	(32.2)	(23.3)	(11.1)	(4.7)	3.6	13.1	1.5
夫婦のみ	100.0	65.0	16.8 (100.0)	(38.1)	(40.3)	(26.7)	(29.6)	(28.6)	(24.9)	(20.0)	(31.2)	(21.9)	(15.8)	(3.6)	4.0	12.6	1.5
子と同居	100.0	62.1	20.0 (100.0)	(37.5)	(52.7)	(22.5)	(27.9)	(31.9)	(29.0)	(25.7)	(35.0)	(22.9)	(8.6)	(5.8)	3.1	13.3	1.4
その他と同居	100.0	66.4	15.1 (100.0)	(37.8)	(39.6)	(26.2)	(20.4)	(21.0)	(23.5)	(17.8)	(24.5)	(28.9)	(9.1)	(3.8)	4.0	13.1	1.5
同居人なし	100.0	40.2	35.4 (100.0)	(29.2)	(35.2)	(19.3)	(18.8)	(19.8)	(17.7)	(13.6)	(19.1)	(26.9)	(14.5)	(10.0)	2.6	19.0	2.7
療養病床(再掲)	100.0	30.1	48.6 (100.0)	(29.3)	(39.8)	(21.0)	(25.0)	(26.2)	(17.8)	(19.1)	(27.1)	(30.9)	(13.1)	(10.5)	1.3	17.0	3.0
同居人あり	100.0	37.0	42.2 (100.0)	(30.9)	(46.3)	(23.0)	(27.6)	(29.7)	(19.8)	(22.9)	(34.1)	(31.6)	(14.1)	(5.2)	1.4	17.7	1.7
夫婦のみ	100.0	36.4	41.8 (100.0)	(33.7)	(41.6)	(27.5)	(36.6)	(32.8)	(13.9)	(20.4)	(37.8)	(38.2)	(14.7)	(3.3)	0.7	18.2	3.0
子と同居	100.0	38.1	43.0 (100.0)	(30.0)	(51.5)	(20.7)	(27.9)	(32.3)	(25.8)	(24.7)	(34.5)	(26.8)	(13.3)	(6.1)	1.1	16.4	1.4
その他と同居	100.0	34.8	41.1 (100.0)	(28.3)	(31.9)	(22.9)	(1.6)	(7.4)	(4.2)	(20.1)	(21.7)	(38.8)	(16.1)	(5.2)	2.4	21.7	-
同居人なし	100.0	19.0	60.5 (100.0)	(27.9)	(33.4)	(19.5)	(22.6)	(23.3)	(15.8)	(15.4)	(20.0)	(31.4)	(12.5)	(13.8)	1.1	16.0	3.4
一般病床(再掲)	100.0	65.1	15.8 (100.0)	(37.2)	(43.9)	(23.8)	(23.3)	(25.0)	(28.4)	(19.3)	(27.0)	(19.1)	(11.6)	(5.6)	3.9	13.1	2.1
同居人あり	100.0	70.3	12.4 (100.0)	(43.3)	(47.6)	(26.1)	(27.8)	(29.5)	(32.6)	(23.0)	(31.7)	(17.4)	(8.2)	(4.6)	4.2	11.7	1.4
夫婦のみ	100.0	70.6	12.2 (100.0)	(41.2)	(39.9)	(26.3)	(25.7)	(26.3)	(32.4)	(20.1)	(27.4)	(11.6)	(15.7)	(3.5)	4.7	11.2	1.3
子と同居	100.0	69.2	13.3 (100.0)	(45.0)	(54.2)	(24.9)	(27.6)	(31.4)	(31.7)	(26.4)	(35.6)	(19.8)	(3.1)	(5.7)	3.7	12.3	1.4
その他と同居	100.0	72.7	10.5 (100.0)	(41.8)	(45.9)	(29.7)	(34.4)	(31.6)	(36.8)	(18.8)	(29.8)	(24.5)	(5.8)	(3.6)	4.4	11.1	1.3
同居人なし	100.0	50.5	26.6 (100.0)	(28.4)	(40.0)	(21.2)	(17.3)	(19.4)	(21.5)	(14.2)	(20.7)	(22.0)	(16.9)	(6.7)	3.3	17.3	2.3

注:1)同居の有無の総数には、「無回答」を含む。
2)「同居人あり」には、同居の続柄が「無回答」を含む。

(3) 性・年齢階級別

性・年齢階級別にみると、「自宅で療養できる」と回答した者は、男女ともに年齢階級が上がるに従い低下する傾向にある(表13)。

追加

表13 性・年齢階級別にみた退院の許可が出た場合の入院患者の自宅療養の見通し(基本集計)

	総数	自宅で療養できる	自宅で療養できない	自宅療養を可能にする条件(複数回答)											療養の必要がない	わからない	無回答	
				家族の協力	入浴や食事などの介護が受けられるサービス	通院手段の確保	医師、看護師などの定期的な訪問	診療所への連絡体制	緊急時の病院や診療所への連絡体制	療養のための指導(服薬・リハビリ指導など)	療養のための改築(手すりの設置など)	療養に必要な用具(車いす、ベッドなど)	その他	整えばいいのかわからないのか				無回答
総数	100.0	55.5	23.6 (100.0)	(31.9)	(39.7)	(21.2)	(22.7)	(23.0)	(21.9)	(17.6)	(25.0)	(23.0)	(14.0)	(8.1)	3.5	14.6	2.9	
0～14歳	100.0	80.9	2.4 (100.0)	(65.5)	(13.8)	(18.0)	(19.0)	(28.6)	(25.9)	(18.8)	(25.9)	(17.4)	(6.9)	(2.2)	6.9	8.8	1.0	
15～39	100.0	75.2	5.5 (100.0)	(56.3)	(21.1)	(25.9)	(16.9)	(22.8)	(29.5)	(13.8)	(19.9)	(26.0)	(7.9)	(1.2)	7.7	10.4	1.2	
40～64	100.0	67.2	12.3 (100.0)	(37.3)	(30.4)	(22.0)	(20.4)	(19.6)	(24.1)	(15.7)	(22.7)	(28.7)	(10.6)	(4.7)	5.3	13.3	1.8	
65～74	100.0	64.9	14.7 (100.0)	(31.8)	(34.5)	(22.3)	(20.7)	(22.2)	(25.0)	(19.1)	(24.7)	(22.3)	(14.6)	(7.1)	4.3	13.9	2.3	
75歳以上	100.0	47.6	31.3 (100.0)	(30.6)	(41.8)	(21.0)	(23.5)	(23.6)	(21.1)	(17.7)	(25.5)	(22.8)	(14.5)	(8.8)	2.3	15.5	3.2	
男	100.0	59.8	19.8 (100.0)	(32.9)	(39.6)	(23.0)	(25.6)	(24.4)	(24.2)	(18.2)	(28.3)	(21.7)	(13.7)	(7.8)	3.8	13.8	2.8	
0～14歳	100.0	82.5	2.1 (100.0)	(73.6)	(8.6)	(7.0)	(14.0)	(20.0)	(29.9)	(34.2)	(34.2)	(27.0)	(9.7)	-	7.0	7.4	1.0	
15～39	100.0	72.8	6.9 (100.0)	(42.1)	(13.9)	(30.0)	(11.1)	(20.0)	(27.4)	(15.5)	(20.3)	(25.0)	(14.4)	(0.5)	6.7	11.9	1.7	
40～64	100.0	65.4	12.7 (100.0)	(32.8)	(32.1)	(21.6)	(21.3)	(21.0)	(24.9)	(17.4)	(23.0)	(28.3)	(9.5)	(6.0)	5.5	14.3	2.1	
65～74	100.0	65.5	14.8 (100.0)	(32.4)	(35.6)	(21.9)	(22.1)	(21.8)	(23.6)	(18.1)	(24.9)	(19.3)	(18.0)	(7.3)	4.2	13.4	2.0	
75歳以上	100.0	53.1	27.2 (100.0)	(32.8)	(43.0)	(23.4)	(27.7)	(26.0)	(24.3)	(18.5)	(30.4)	(21.0)	(13.4)	(8.5)	2.5	14.1	3.1	
女	100.0	52.0	26.5 (100.0)	(31.3)	(39.7)	(20.2)	(21.1)	(22.2)	(20.5)	(17.2)	(23.1)	(23.8)	(14.2)	(8.3)	3.2	15.2	3.0	
0～14歳	100.0	78.9	2.9 (100.0)	(58.5)	(18.3)	(27.4)	(23.3)	(36.1)	(22.4)	(5.5)	(18.8)	(9.1)	(4.6)	(4.1)	6.8	10.4	1.0	
15～39	100.0	76.7	4.6 (100.0)	(70.0)	(28.0)	(21.9)	(22.6)	(25.6)	(31.6)	(12.3)	(19.5)	(27.0)	(1.5)	(1.8)	8.2	9.5	1.0	
40～64	100.0	69.8	11.8 (100.0)	(44.1)	(27.8)	(22.7)	(19.0)	(17.5)	(22.9)	(13.2)	(22.2)	(29.3)	(12.2)	(2.6)	5.0	11.9	1.5	
65～74	100.0	64.1	14.5 (100.0)	(30.9)	(33.0)	(22.9)	(18.7)	(22.7)	(27.0)	(20.3)	(24.4)	(26.2)	(10.1)	(6.8)	4.3	14.5	2.6	
75歳以上	100.0	44.3	33.8 (100.0)	(29.6)	(41.3)	(19.9)	(21.6)	(22.5)	(19.6)	(17.2)	(23.2)	(23.6)	(15.0)	(8.9)	2.2	16.4	3.2	

注：年齢の総数には年齢不詳を含む。

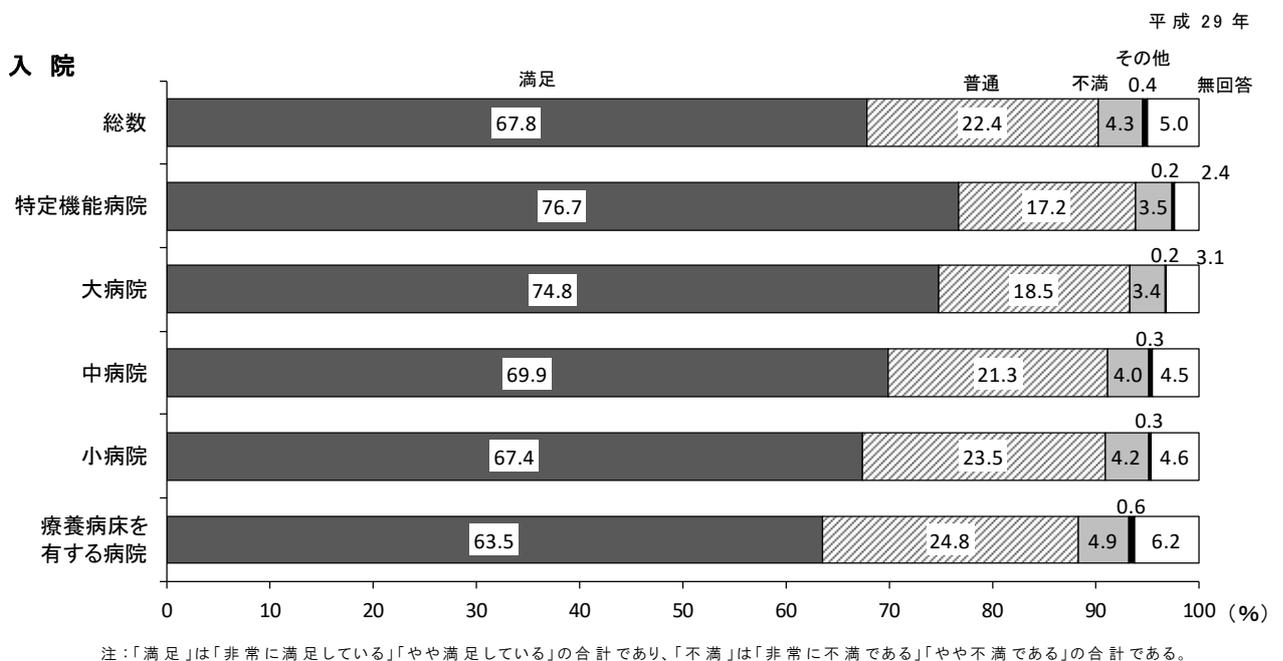
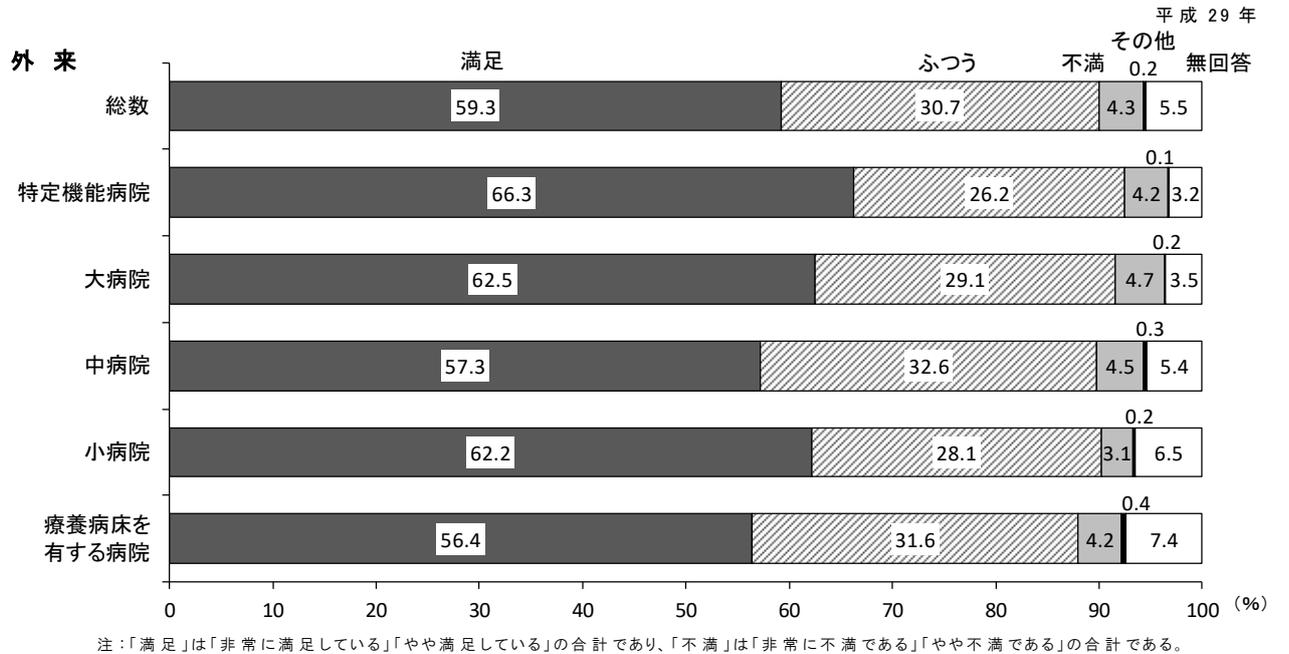
12 満足度

(1) 病院に対する全体的な満足度

全体としてこの病院に「満足」していると回答した者は、外来では 59.3%、入院では 67.8%、「不満」と回答した者は、外来、入院ともに 4.3%となっている。

病院の種類別にみると、「満足」と回答した者は、外来、入院ともに特定機能病院で最も高くなっている。(図 16、統計表 8、9)

図 16 病院の種類別にみた病院に対する全体的な満足度(外来・入院)(基本集計)

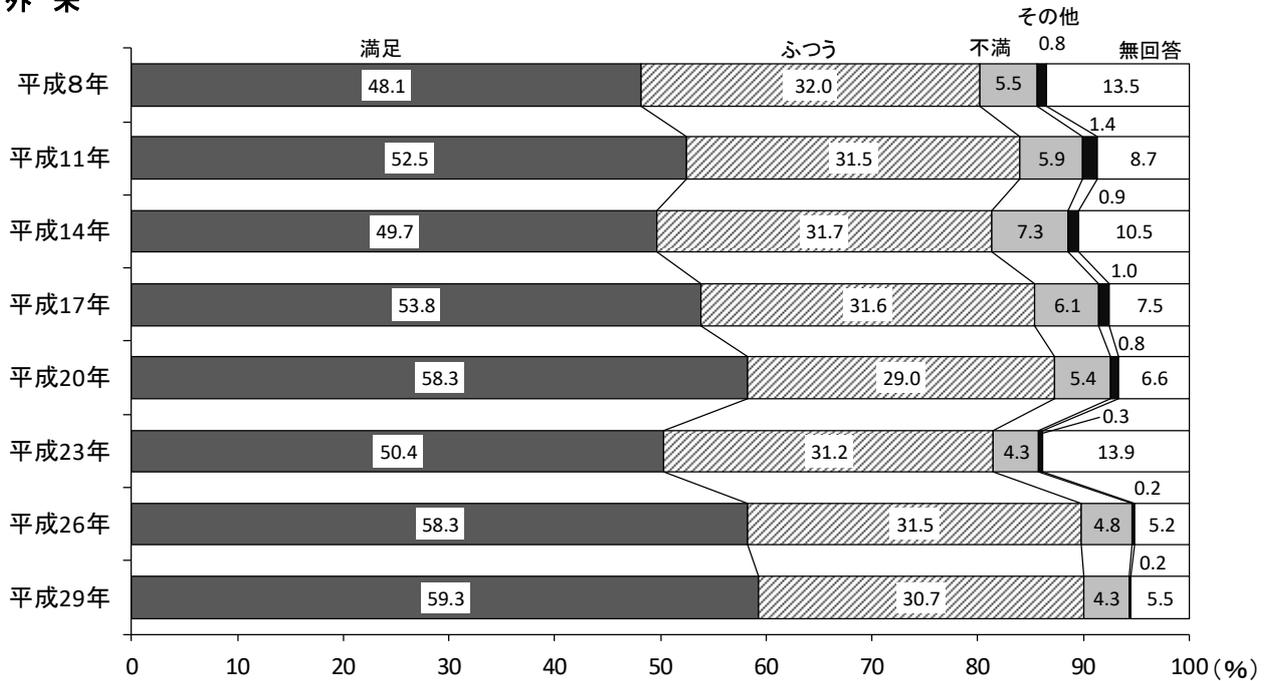


(2) 病院に対する全体的な満足度の年次推移

全体的な満足度を年次推移でみると、「満足」について、外来は5～6割程度、入院は6～7割程度で推移している(図 17)。

図 17 病院に対する全体的な満足度の年次推移(外来・入院)(基本集計)

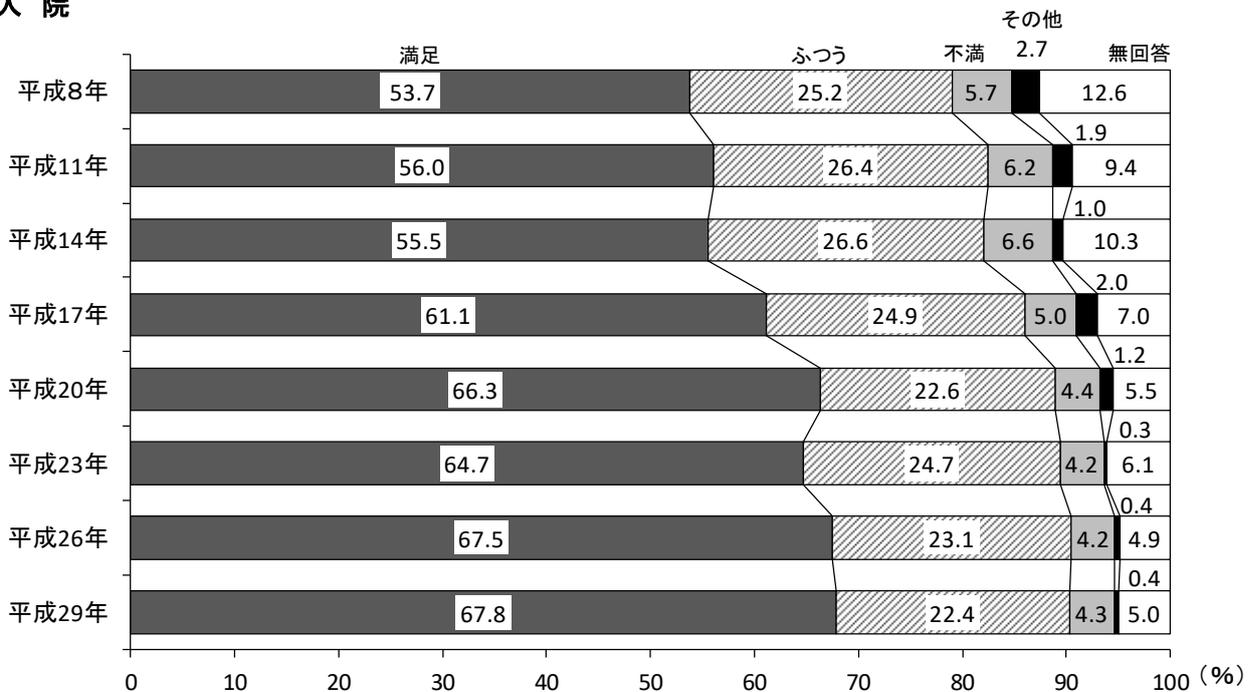
外 来



注:1)平成 23 年は、岩手県、宮城県及び福島県を除いた数値である。

2)「満足」は「非常に満足している」「やや満足している」の合計であり、「不満」は「非常に不満である」「やや不満である」の合計である。

入 院



注:1)平成 23 年は、岩手県、宮城県及び福島県を除いた数値である。

2)「満足」は「非常に満足している」「やや満足している」の合計であり、「不満」は「非常に不満である」「やや不満である」の合計である。

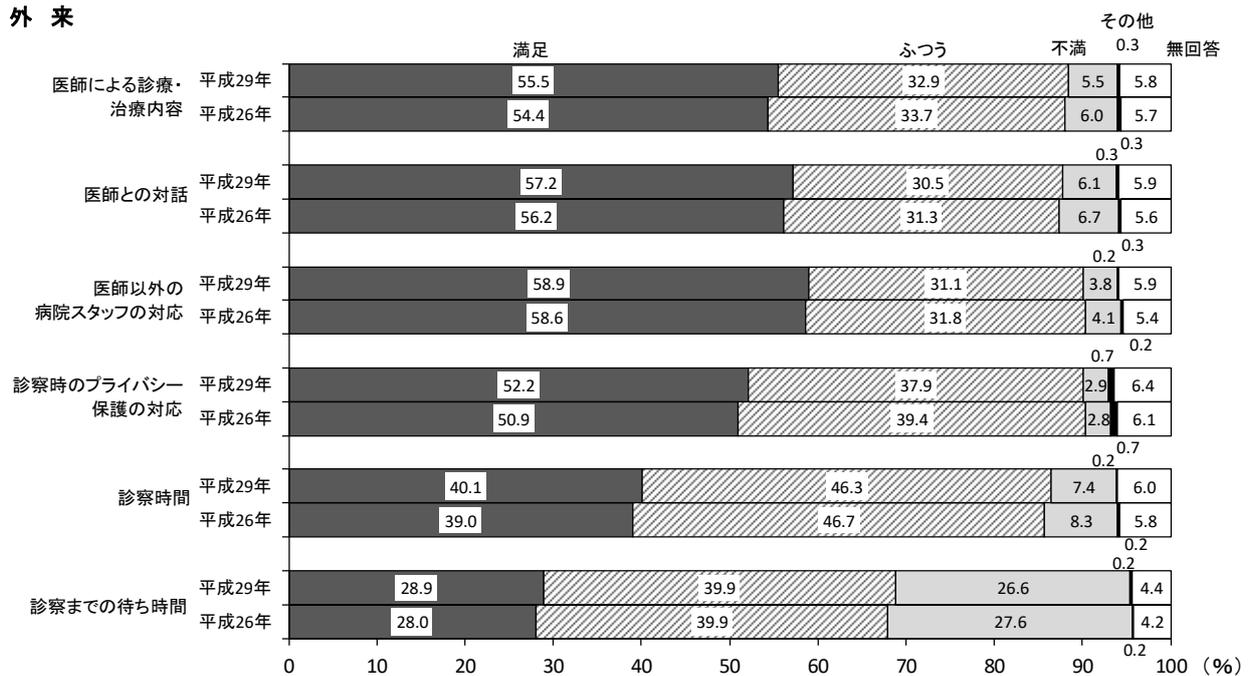
(3) 項目別満足度

項目別に満足度をみると、外来、入院ともに「満足」と答えた者の割合が高い項目の上位は、「医師による診療・治療内容」「医師との対話」「医師以外の病院スタッフの対応」となっており、外来で5～6割程度、入院で約7割となっている。

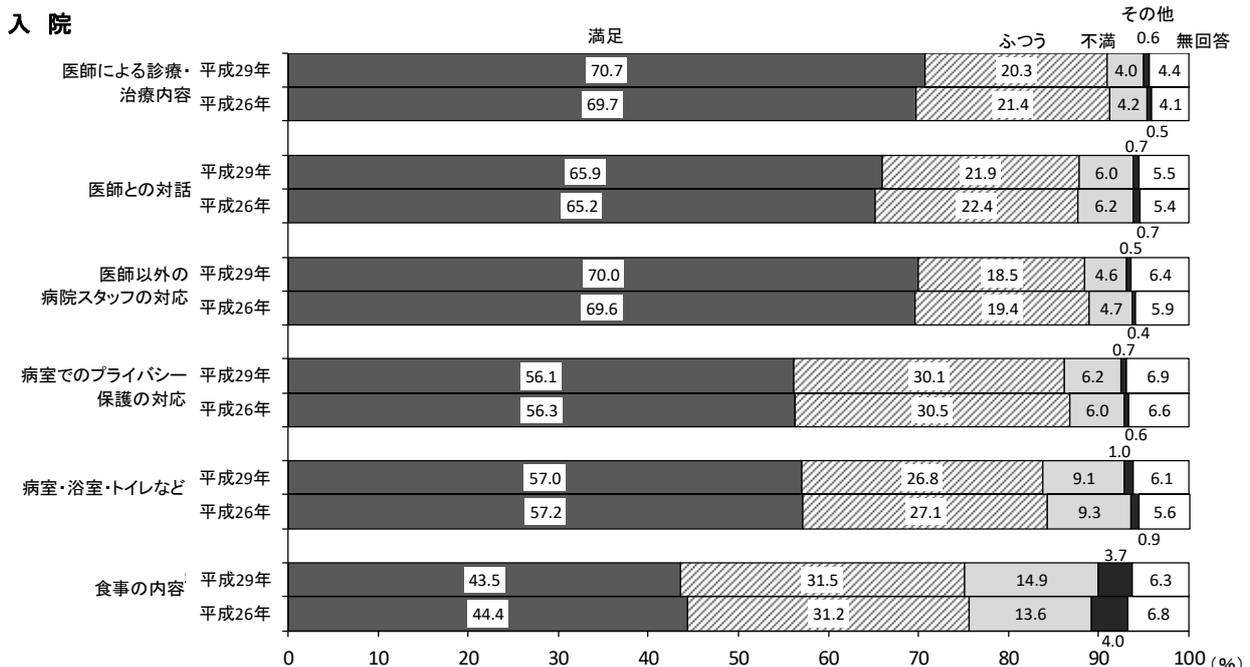
一方、「不満」と答えた者の割合は、外来では「診察までの待ち時間」が26.6%、入院では「食事の内容」が14.9%と最も高くなっている。

また、前回と比べると、外来では全ての項目で「満足」の割合が上昇している。(図 18、統計表8、9)

図 18 項目別にみた満足度(外来・入院)(基本集計)



注：1)「満足」は「非常に満足している」「やや満足している」の合計であり、「不満」は「非常に不満である」「やや不満である」の合計である。
2)「診察までの待ち時間」及び「診察時間」は「医師による診察を受けていない」者を除いた数値である。



注：「満足」は「非常に満足している」「やや満足している」の合計であり、「不満」は「非常に不満である」「やや不満である」の合計である。

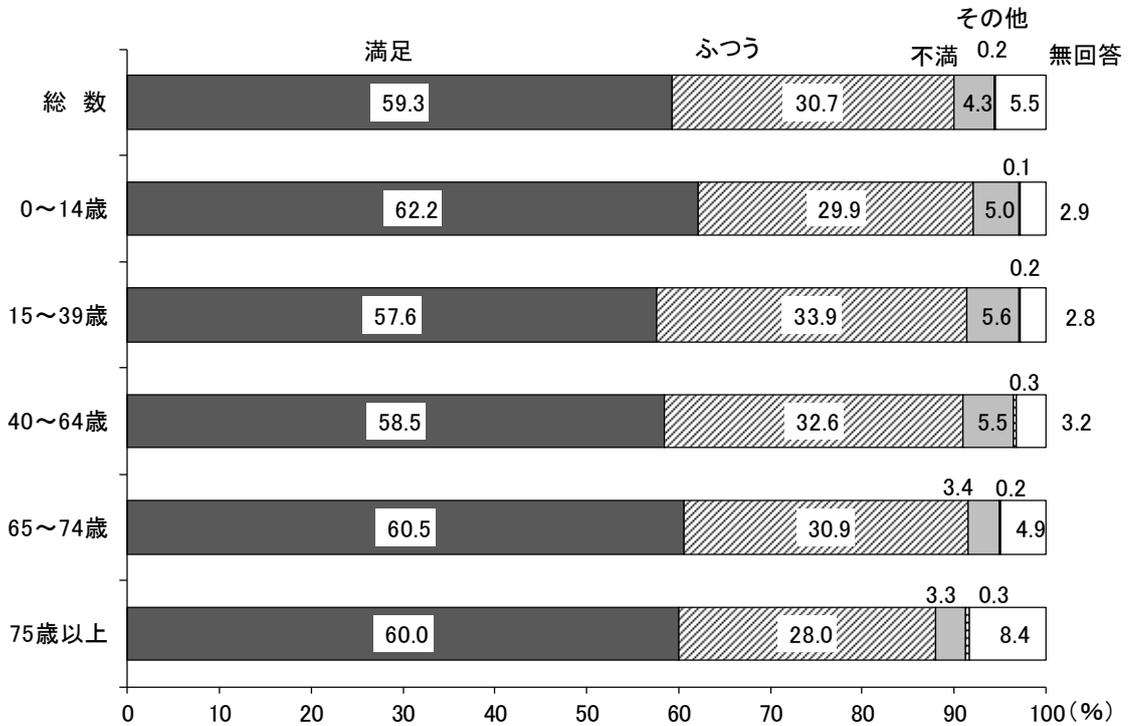
(4) 年齢階級別の満足度

年齢階級別に満足度をみると、外来、入院ともに「満足」の割合は「0～14歳」が最も高くなっている(図19)。

追加 図19 年齢階級別に見た病院に対する全体的な満足度(外来・入院)(基本集計)

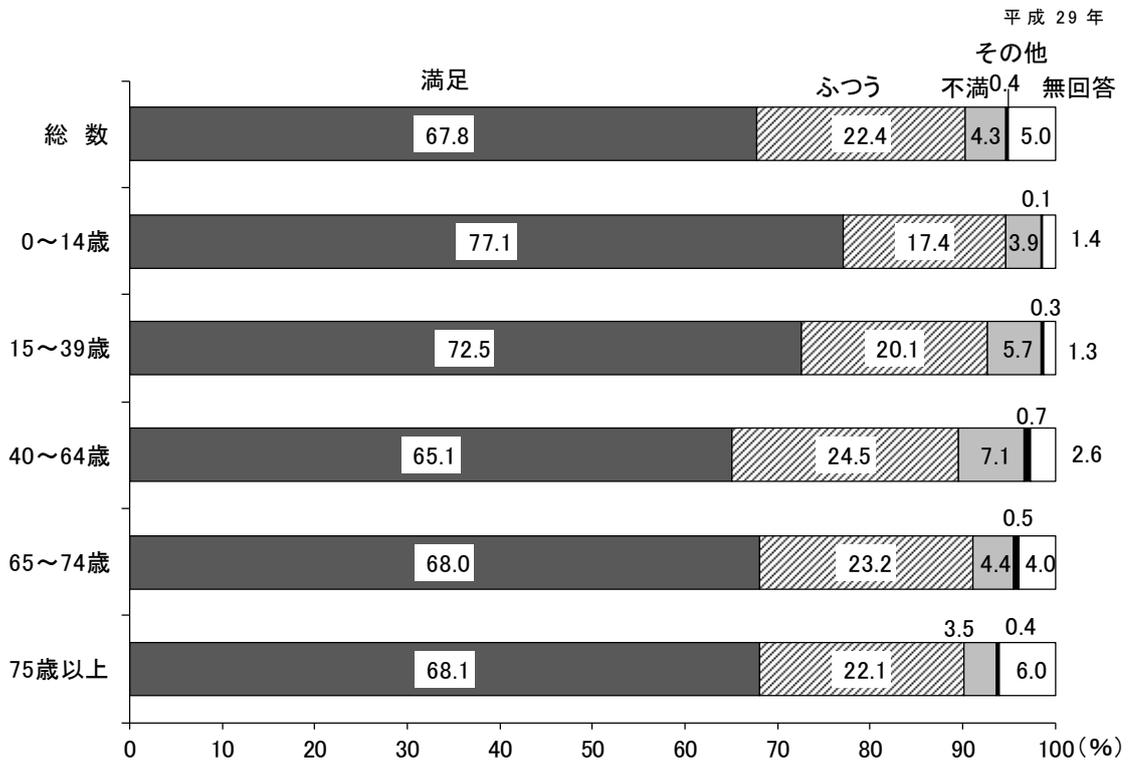
平成29年

外来



注:1)「満足」は「非常に満足している」「やや満足している」の合計であり、「不満」は「非常に不満である」「やや不満である」の合計である。
2)年齢の総数には年齢不詳を含む。

入院



注:1)「満足」は「非常に満足している」「やや満足している」の合計であり、「不満」は「非常に不満である」「やや不満である」の合計である。
2)年齢の総数には年齢不詳を含む。

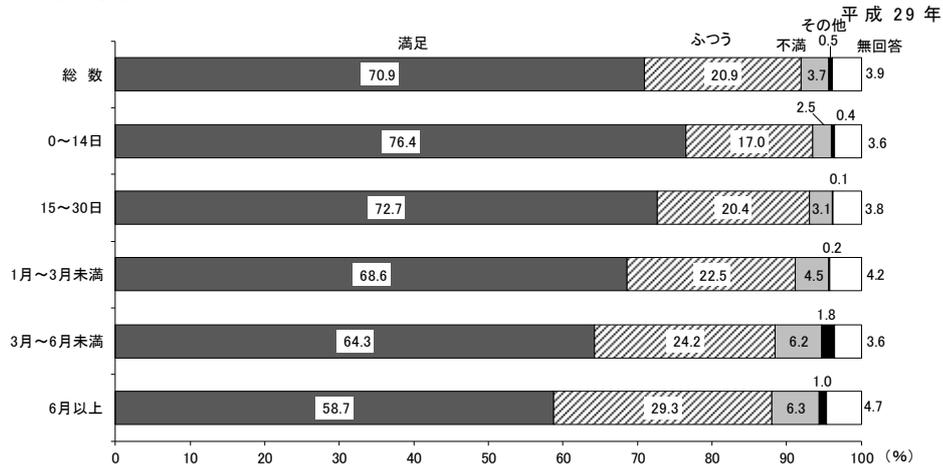
(5) 入院患者の入院期間別の満足度【関連集計】

入院期間別に入院患者の満足度を項目別にみると、「医師による診療・治療内容」及び「医師以外の病院スタッフの対応」の「満足」の割合は、「0～14日」でそれぞれ76.4%、74.6%で、入院期間が長くなるに従い低下している。また、「食事の内容」の「満足」の割合は、全ての入院期間で4割程度となっている。(図20)

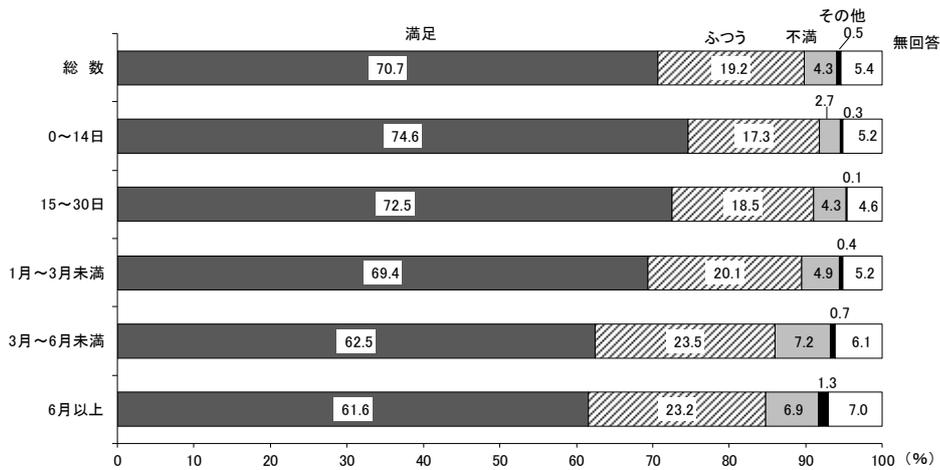
追加

図20 入院期間別にみた入院患者の満足度(関連集計)

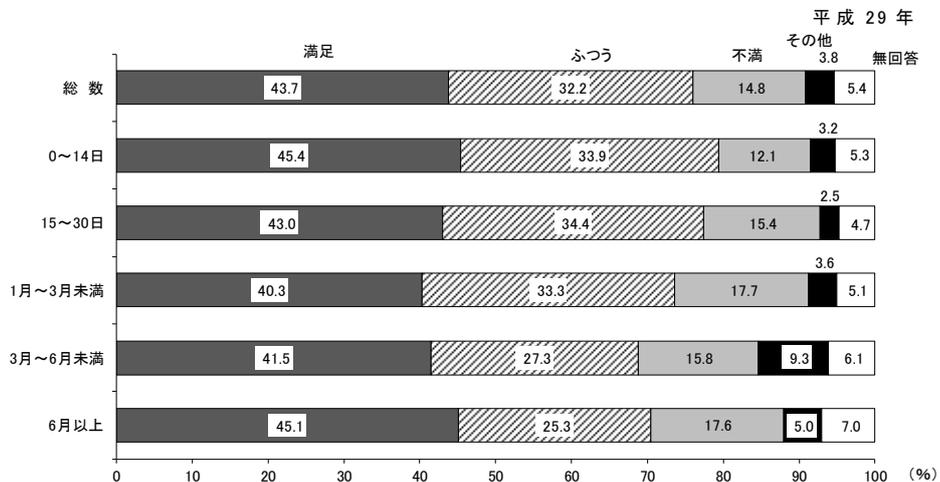
医師による診療・治療内容



医師以外の病院スタッフの対応



食事の内容



注：1)「満足」は「非常に満足している」「やや満足している」の合計であり、「不満」は「非常に不満である」「やや不満である」の合計である。
2)入院期間の総数には入院期間不詳を含む。